

時局日誌 (五十回)

Y
H
生

二月九日

木材統制法施行令中改正(勅令第七九號)
配電統制令ニ依ル出資會社ノ清算ニ關スル件(遞信司法第一號) 落花生油粕等販賣價格指定昭和十六年二月告示第八二號
中改正(農林省告示第七〇號) 公布
大本營發表

一、マレー方面帝國陸軍航空部隊は二月七日、八日の兩日にわたりスマトラ島パレンバン飛行場その他を大舉強襲し敵機六十七機(七日五十機、八日十七機)を撃墜破し、英蘭空軍に殲滅的打撃を與へたり。
二、ビルマ方面帝國陸軍航空部隊は前日

にひきつゞき二月七日さらに數次におたりミンガラドン飛行場に進攻し敵機十一機を撃墜破せり。

七日午後三時半頃〇〇方面陸軍航空部隊の戦爆連合の大編隊は、前日に引續きスマトラのパレンバン飛行場を急襲、戦闘機隊は舞ひ上つたハリケーン、ブレンハイム、ロツキード・ハドソン等數十の敵機群と大空中戦を演じ、ハリケーン十五機(内不確實五機)ロツキード・ハドソン二機(内不確實一機)ブレンハイム四機を撃墜すれば、他の一隊は飛行場一帯を猛爆して火網に包み、或は超低空銃撃を加へて在地の二十機を銃爆撃破して内

十四機を炎上せしめ、また他の一隊はパレンバン攻撃の途中ベルハラ島上空で發見したブレンハイム四機を撃墜せしめた、また青木部隊の一部はスマトラ島バカンバルに進攻して在地のブレンハイム二機を銃撃破し、ロツキード・ハドソン一機を炎上せしめた。

マレー方面陸軍最高指揮官は陸軍中將山下泰文なり。
マレー方面帝國陸軍部隊は昨八日以来敵の抵抗を排除してジョホール水道の渡過に成功し、堅固シンガポール島要塞に對し攻撃を開始せり。
世界の環視をこの一點に集めて皇軍シ

ンガポール總攻撃の火蓋は切られた、ヨホール水道を狭んでシンガポール島を指呼の彼岸にのぞみ、總攻撃準備に満を持した、わが精銳は四日夕刻より對岸に對し砲門を開き、軍事施設を撃碎しつゝあつたが、愈々シンガポール島總攻撃を開始、八日自然の要害と頼むヨホール水道の敵前渡過に成功、皇軍は堂々シンガポール島に歴史的な第一歩を印した。

八日深更より開始された我が砲撃陣の大援護砲撃の彈幕を利して、九日午前零時我が精銳部隊のシンガポール島敵前上陸作戦は開始された、隱密裡に舟艇をならべた我が決死隊は右翼〇〇、左翼〇〇兩部隊一齊に對岸のゴム林に蔽はれた陣地帯に向つて突進、息詰る時を刻んで同十六分まづ左翼〇〇部隊の上陸成功を示す青い信號彈、續いて同二十分赤い信號彈が上がつた、その道ジョホール水道には殷々たる我が巨砲の咆哮が響するのみ一發の抵抗もない、同二十分左翼〇〇部隊

は全部隊の上陸に成功前方〇〇高地に向つて進撃を開始した、一方同二十五分右翼部隊も全部の上陸に成功、續いて我が〇〇部隊も工兵隊の決死的協力の下に上陸に成功した、上陸地點の敵は全く我が不意討を食ひ陣地を捨て、テンガー飛行場東方道路を中央縱貫道路方面に向つて退却中である。

シンガポール英東亞軍司令部は九日夜次のごときコンミュニケを發表した日本軍は八日午後十一時と九日午前一時の間にシンガポール島西北岸、スンゲイ、クランジとパシール・ラバの中間に舟艇によつて上陸した、右の上陸に先立ち日本軍は猛烈なる砲撃を行ひさらに多數の日本航空機もこれに掩護を加へた英軍は若干地點において退却を餘儀なくされ、日本軍は據點確保に成功した。

二月十日

昭和十七年度一般會計歳出入財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件（十五億七百萬

十萬圓）（法律第二號）民法中改正、私生子ニ關スル件（法律第七號）臨時軍事費豫算追加（百八十億圓）昭和十七年度歳入歳出豫算追加（一億三千九百三十萬四千六百六十一圓）昭和十七年各特別會計歳入歳出豫算追加

俘虜郵便爲替規則改正（逓信省令第一三號）工場法施行規則中改正（厚生省令第七號）工場災害豫防及衛生規則中改正（厚生省令（第八號））工場附屬寄宿舎規則中改正（厚生省令第九號）國民徵用扶助規則各醫療關係者徵用扶助規則ニ關シ通報（陸軍達第四號）ラス最高販賣價格指定昭和十六年十二月告示第一二六〇號中改正（商工省告示第一四七號）防空用防毒面及防空用防毒服最高販賣價格指定昭和十六年八月告示第六八三號中改正（商工省告示第一四八號）富士絹販賣價格指定昭和十五年十月告示第六一五號中改正（商工省告示第一四九號）綿製勞働作業衣販賣價格指定昭和十五年十二月告示第七九八

號中改正（商工省告示第一五〇號）學童服警防團服及青年學校訓練服販賣價格指定昭和十六年五月告示第四五五號中改正

彼勳の恩命に浴したものが多數含まれてゐる。

（商工省告示第一五一號）足袋販賣價格指定昭和十六年十二月告示第一三三五號

一、支那および滿洲における鐵道隊の大

中改正（商工省告示第一五二號）醫藥品販賣價格指定昭和十六年二月告示第二號

二、支那における憲兵隊鑿井隊および傷病患者の輸送に従事した病院船

中改正（商工厚生省告示第二號）醫藥品最高販賣價格指定昭和十六年八月告示第九號中改正（商工厚生省告示第三號）公

三、滿洲の警備に任じた八部隊および通信諸部隊

布

四、内地において事變勤務に従事したる四部隊

第三十回支那事變生存者論功行賞（陸軍第二十五回）は十日賞勳局ならびに陸軍省から左のごとく發表された、今回恩賞の光榮に浴したものは左記部隊に屬する軍人（將官を除く）及軍屬と既に發表された部隊に屬する一部の將官（佐官で

シンガポール島要塞を猛攻中の帝國陸軍部隊は執拗なる敵の抵抗を擊碎して昨日午後七時テンガール飛行場を完全に占領せり。

奏功しその後將官に進級した者を含む）とで其うち金鷄勳章を授賜されたもの三百十九名、殊勳甲は大和田重綱曹長一名である、また病院船に勤務した看護婦中

ジョホール水道の渡過に成功した各部隊は我優勢な航空部隊と重砲隊との密接な協力の下に各所に白兵戦を交へつゝ前進を續行し、九日午後七時〇〇部隊はテンガール飛行場を完全に占領し飛行場東側テンガール河の線に進出して、テンガール飛

行場において我軍は敵飛行機十機、高射砲二門を鹵獲し多大の戦果をあげた。

昭和十七年度歳入歳出總豫算案ならびに昭和十七年度各特別會計歳入歳出豫算案ほか六件の豫算各案は、十日の貴族院本會議に上程、林委員長の報告あつて政府原案通り可決、こゝに豫算各案は去る四日貴族院豫算總會において賀屋藏相の説明を聴取して以來わづか一週間、貴衆兩院を通算すれば二十日間の快速審議をもつて成立を見た。

畏き邊りでは大陸の征野に或ひは洋上第一線に赫々たる武勳を樹てゝさきに歸還した中島今朝吾陸軍中將以下陸軍三十八將星、豐田貞次郎海軍大將（當時中將）以下海軍十三提督に對し支那事變生存者行賞の御沙汰あらせられ、十日午後二時左のごとく賞勳局から發表された、草場、藤江、佐々木、小松原、下元、山下、本間、濱本、牛島、阿南、土橋、甘粕各陸軍中將を除く三十九將星は同日午

後相次いで宮中に参内 天皇陛下には同
二時鳳凰ノ間に御東條首相待立の上勳
章を御親授東條首相から勳記を傳達して
厳かに御儀を終へさせられた、なほ今回
の行賞は昭和十五年四月二十九日付をも
つて發令されてゐる。

ニューヨーク港繫留中の豪華船ノルマ
ンザ一號(八三、四二三トン)は既報の
ごとく九日午後二時突如原因不明の火を
發したが、十日ワシントン電によれば同
船は七時間燃え續けたのち消防隊が救済
不可能と知つて海水弁を開いたので九日
午後九時遂に海底に没した。

比島守備のマツクアーサー司令官は十
日、米陸軍省に對しベタアン半島の戦局
を報告し「米比軍の運命は今や悲觀すべき
結論に到達した、即ちベタアン半島攻略
の日本軍には陸續として増援軍が加はつ
てをリリガン灣方面にも有力なる日
本軍が上陸した日本軍砲兵は隠蔽陣地よ

りわが軍に砲火を集中してゐる」と述べ
た。

二月十一日

畏き邊りでは十一日の紀元節にあたり
全國の優良私設社會事業團體九百二十三
團體に對し、事業御獎勵の思召をもつて
それ〴〵御内帑金一封下賜の有難き御沙
汰あらせられた、光榮の各團體の所屬官
廳別は次の通りである。

△内閣所管 財團法人大連聖愛醫院(關
東州)ほか十五團體

△司法省所管 財團法人司法保護協會
(東京)外二百六十九團體

△文部省所管 私立函館盲啞院(北海道)
ほか五十六團體

△逓信省所管 財團法人神戸海員ホーム
(兵庫)ほか二團體

△拓務省所管 財團法人和光教團(朝鮮)
ほか百二十團體

△厚生省所管 東京朝日新聞社會事業團
(東京)ほか四百五十五團體

シンガポール英總督シエントン・ト
マスは十日シンガポール放送局からシン
ガポールの運命はすでに神の手のなかに
ある旨の悲痛な放送をなし同時に日本軍
が同日すでに近郊に迫りシンガポール陥
落の近きを認めてゐる。

大本營發表 シンガポール島要塞猛攻中
なる帝國陸軍部隊は本十一日紀元の佳節
を迎へ士氣よく昂揚、激戦のち今
早朝シンガポールの最高地點ブキテマ
の要衝を奪取し敗退に混亂せるシンガポ
ール市街を指呼の間に俯瞰睥睨しつゝ銳
意攻撃を續行中なり。

わがシンガポール攻略部隊は敵陣地の
頑強なる抵抗を隨所に破摧して十一日朝
遂にシンガポール島最大の要衝ブキテマ
を完全に掌握した即西方地區より上陸せ
る〇〇部隊は中央よりの〇〇部隊と辮を
並べて怒濤の如く迂回、進撃に成功、こ
のためパンジャンおよびブキテマ間に蠢
動してゐた敵兵は全く袋の鼠と化し投降

兵續出、また他の一隊は目下ブキ・テマ西方約二キロの六十メートル高地の敵陣地に猛砲撃を加へてゐるとそのためブキ・テマからシンガポール市街まで約〇キロのメインストリートは敵の退却部隊や車輛群が右往左往騒然としてゐる。

大本營發表 本十一日早朝來執拗なる敵の抵抗を擊碎しつゝ進撃を續行中なる帝國陸軍部隊は午前八時シンガポール市街に突入敗殘英軍を隨所に捕捉蹂躪しつゝあり。

シンガポール市街を直指して最後の猛進撃を續けてゐた我軍の先鋒鐵牛部隊は十一日午前八時遂にシンガポール市内に突入、紀元の佳節を講ぐが如くシンガポール市の一角に日章旗を掲げた。

白旗を掲げて全軍降伏か、敵はぬまでも市街戦によつて最後の決戦を試みるか、いづれにせよ英國が百十年にわたり營々築き來つた東亞侵略の最後の牙城は今將に崩れ落ちんとしてゐる、十日午後零時

(日本時間)わが先登部隊はシンガポール市街を距る僅か九キロにまで肉薄、暗夜にそそり立つ巨大な建物は、どこのこととも判別することはできないが、その一つも陥落寸前の無氣味な殺氣を漂はせてゐる。それにしても皇軍無類の快速進撃よ、大膽極まる敵前上陸に九日成功してより僅か三日にしてすでに敵の死命を制したのである。難攻不落を呼號したシンガポールも、今皇軍の風の進軍の前にその最後の日を迎へんとしてゐるのだ、

同島に残存せる約三萬の英國兵の運命や如何に、ダンケルクの慘を再びこゝに演ずるか、大東亞諸民族の世紀の曙、今日十一日の佳節こそ世界戦史に輝かしき一頁を畫する日とならう。

獨軍司令部發表

一、ドネツ戦線において一地區の獨軍部隊は一月十八日から二月十一日までに赤軍捕虜一千六百三十九、遺棄死體七千五百、戰車八臺、大砲十九門、機關

銃手榴彈合せて百六十四、その他の武器多數を鹵獲した。

一、レニングラード正面戦線において赤軍は出撃を企圖したが獨軍砲兵隊はこれを撃退した。

一、英國西南海岸沖合において戰爆連合の獨空軍編隊は敵商船四隻を攻撃、内二隻合計七千トンを撃沈、他の一隻も恐らく撃沈したものと見られ、残りの一隻に對しても損傷を與へた。

一、同じく戰爆連合の獨空軍の他の編隊はスコットランド東海岸の大軍需工場に對し低空爆撃を行つて大型爆彈の雨を浴せた。

一、北阿トブルク北東において獨空軍は英輕巡一隻を爆撃してこれを傾斜せしめた。

蘇北、皖北各戦線における〇〇部隊一月中における綜合戦果左のごとし(括弧内共産軍)

捕虜一千百七十八(二百四十三) 鹵獲品、小銃二千七百四十、同彈丸八萬一千七十五、拳銃二百三、同彈丸二千五百二十二、輕機四十五、同彈丸六百六十、重機二、同彈丸千五百、自動小銃三十

四、同彈丸百八十一、重迫撃砲四、同彈丸百三十二、輕迫撃砲四、同彈丸百三十六、擲彈筒四、手榴彈九千四百六十四、洋砲百四十、被服三百八十五、鹽二千四百キロその他兵器、軍需品等多數
新聞事業令により去る五日設立した日本新聞會の役員は田中會長の手許で銓衡中のところ左の如く決定した。

△理事長(事務局局長兼總務部長) 日本電報通信社事務不破瑛磨太△理事(編輯部長) 新聞聯盟事務局長岡村二一、同(業務部長) 福岡日日新聞社營業局總務清忠倫

右役員は現職を退き新聞會專任となる。

九日午後ニューヨーク港内に繋留中火

災を發した佛豪華船ノルマワジー號の損害につきその後ニューヨークより當地に達した報道によれば、同船は消火のため使用した水が船内に充満して顛覆の危機に遭遇したため、舷側を燒き切つて穴を開け排水につとめた。

二月十二日

兵器等製造事業特別助成法(法律第八號)人造絹織物販賣價格指定昭和十六年二月告示第一五四號中改正(商工省告示第五四號)硝子製貯藏用壘最高販賣價格指定(商工省告示第一五五號)籐販賣價格指定昭和十六年三月告示第二三二號中改正(商工省告示第一五六號)公布

第三十一回支那事變生存者論功行賞(海軍第九回)は十二日賞勳局並に海軍省から發表された、今回の行賞範圍は現役者とし、一部の將官を含むほか昭和十五年五月以降の死没者若干名を含んでゐる特に功績拔群、赫々の武勳に輝く優賞者は五十九名(内將官一名)で、主と

して海上部隊陸戰隊及び航空部隊の將士である。
大本營發表 ビルマ方面帝國陸軍部隊は敵の抵抗を排除し、二月十二日午後一時サルウイン河右岸の要衝マルタバワを完全占領せり。

大本營發表 シンガポール島要塞を攻陥中なる帝國陸軍部隊は昨十一日ブキテマ方面より敵陣深くシンガポール市街に楔入して要塞の死命を制するとともに更に強力なる部隊をもつて北方正面より敵陣地を席捲し各方面空陸相呼應して本十二日拂曉來貯水池周邊の敵軍主力に對し大殲滅戰を展開中なり。

大本營發表 本十一日早朝來執拗なる敵の抵抗を擊碎しつゝ進撃を續行中なる帝國陸軍部隊は午前八時シンガポール市街に突入、敗殘英軍を隨所に捕捉蹂躪しつゝあり。

大本營發表 帝國海軍特別陸戰隊は二月九日セレベス島南端の要衝マカツサルな

らびにニューブリテン島南側の要地ガスマタを完全に占領せり。

シンガポール西北地區より進撃せる〇〇部隊および〇〇部隊の一部は市街の一角に突入せるも、その主力は一時武士道の立場より我がマレー軍最高指揮官より降伏勧告を敵軍が承諾するや否やを待つてゐたが、敵は勧告を肯んぜず反撃して来るので、十一日夜から攻撃を續行、シンガポール市西北郊外において十二日午前二時ごろ反轉せる敵と交戦、目下その追撃戦を展開、全面的に敵を同市街に壓縮中

大本營發表 關領ボルネオ方面帝國陸軍部隊はタナーゴゴト上陸後陸路四百キロの悪路を踏破し二月十日正午ボルネオ島南岸の要衝バンジェルマシンを完全に占領せり。

大本營發表 帝國海軍航空部隊は二月九日蘭印の首都バタビヤを大空襲し、チリリタン、カマヨラン、タンジジョンプリオ

ク各飛行場を攻撃、敵機二十機を撃墜破し諸軍事施設を爆破せり。

駐佛大使加藤外松氏は十一日深更アヴニユー・オウシユの日本大使館邸階上の震室で突如呼吸困難に陥り窓を明けて半身を乗出した際過つて前庭に墮落、人事不省に陥つた。直ちにエトワール廣場のコール・モルトナ病院に運ばれ手當を受けたが間もなく逝去した。

二月十三日
林業共同施設獎勵規則中改正（農林省令第一五號）食用鹽乾魚介類最高價販賣價格指定昭和十五年八月商工省農林省告示第一三號中改正（農林省告示第七八號）製材用帶鋸地販賣價格指定昭和十六年十二月告示第一〇二號中改正（商工省告示第一五八號）化學加工澱粉最高販賣價格指定（商工省告示第一五九號）更生糸交織ステープルファイバー織物最高販賣價格指定昭和十六年八月告示第七一四號中改正（商工省告示第一六〇號）公布

わが陸軍精銳部隊の勇猛果敢なる攻撃により敵は撤退部隊を收容するため要塞砲兵の協力により、相當執拗なる抵抗を試みつゝあるも、既にシンガポール島の撤退を開始せるものの如く全島より輸送船の南進せるものがある、なほ當面の敵の隊號はイギリス本土第十八師團、第五十四旅團、第五十五旅團、濠洲第八師團（敗殘兵をもつて再編成せるもの）インド第十一師（敗殘兵をもつて再編成せるもの）である。

陸軍部隊のシンガポール殲滅戦に呼應

大本營發表 マレー方面帝國陸軍航空部隊は前日に引きつゞき昨十二日その全力を以てシンガポール島要塞貯水池周邊地區の大殲滅戦に協力すると共に大舉して退避準備中の敵艦船群を襲撃し一萬トン級（兵員滿載）一隻撃沈、三千トン級一隻炎上、七千トン級乃至一千トン級九隻に多數の命中彈を與へたり、我に損害なし。

九〇

して海軍航空部隊は連日にわたつて大舉出動、シンガポール島を脱出せんとする敵船舶を爆撃、シ港内外において一萬トン級を主とする敵船十隻を撃沈破した、すなはち三日には一萬トン級一隻をシンガポール南方海上で爆撃、同船は数日間炎上の後沈没、五日には同港内に蟄集する敵船群を襲撃、一萬トン級六隻は一隻を餘さず或は火災を起し或は重油を流出し、いづれも航行不能に陥らしめるといふ大戦果を収めた、ついで八日には一萬トン級一隻をシ島南方海上で撃沈、また十一日バンカ海峡で七千トン級敵船に数發の命中彈を浴びせ他の五千トン級一隻に直撃命中何れも炎上せしめてをり、海上にあつて、敗走する敵艦船の嚴重監視に努めてゐる海軍艦艇の活躍と相まつてシ港要塞敗敵脱走の企圖を粉碎しつゝある。

わが陸軍航空部隊は十三日午前十一時ごろの戦爆連合の大編隊で長驅バレンバン

(スマトラ島南部の要衝)を攻撃戦闘機隊は挑み來つたハリケーン戦闘機五機およびこの方面戰場上空に初めて姿を現した英空軍第一線機たるスピットファイヤリ戦闘機一機と交戦して瞬く間にハリケーン五機うち(不確實二機)を撃墜、爆撃隊は地上の大型四機を爆破した。

十二日英佛海峡における獨英海戦に關し獨軍當局は十三日左のごとく發表した

戦艦シャルンホルスト、同グナイゼナウ(共に二六、〇〇〇トン)及び甲級巡洋艦プリンツ・オイゲン(一〇、〇〇〇トン)よりなる獨艦隊は英佛海峡及び北海西方において英艦隊と交戦、現在までの報告によれば英艦隊一隻を撃沈、他の一隻に火災を起さしめた、ドイツ側は英機により水雷艇一隻に輕微なる損害を受けたに過ぎない、なほこの戦闘にはシニベル元帥麾下の獨空軍が大活躍を行つた。

二月十四日

和装細貨等最高販賣價格指定(商工省告示第一六五號)靴紐最高販賣價格指定(商工省告示第一六六號)齒科醫療器械販賣價格指定(商工省告示第一六七號)劍道具等最高販賣價格指定(商工省告示第一六八號)公布

政府は今議會において大東亞建設の大方針を闡明したが、征戰の驚異的進展に伴ひこの大方策の企畫ならびに運営に萬全を期するため内閣に「大東亞建設審議會」なる中央審議機關を設置し民間各方面の智能を動員參畫せしめて軍事、外交を除く大東亞建設に關する重要事項を諮問に應じて審議または建議せしめ、國家總力發揮の完璧を期することになりこれが設置要綱を十三日の閣議に附議決定のうへ情報局より發表した、同審議會は内閣に置き總裁に首相、幹事長に企畫院總裁が就任、委員は民間の學識經驗あるもの三十七名をもつて組織することとなし

別に官民合同の専門委員を置くことを得ることとなつてゐる。

大東亞建設審議會設置に關する件

第一、方針

大東亞建設に關する綜合的企畫ならびにこれが遂行に關する國家總力發揮の完璧を期せんがため左記要領により大東亞建設審議會を設置す。

第二、要領

一、大東亞建設審議會は内閣總理大臣の監督に屬し大東亞建設に關する重要事項（軍事および外交に關するものを除く）につきその諮問に應じて調査審議しおよびこれが建議をなすこと

二、大東亞建設審議會は總裁一人および委員四十名以内をもつてこれを組織すること

三、總裁は内閣總理大臣をもつてこれに充つること

委員は學識經驗あるものの中よりこれ

を勅命すること

國務大臣は臨時議會に出席し意見を開陳すること

四、委員の任期は二年とすること

但し特別の事由ある場合においては任期中これを解任することを妨げざること

五、特別の事項を調査審議するため必要あるときは専門委員をおくことを得ること

専門委員は内閣總理大臣の奏請により關係各廳高等官または學識經驗あるものなかより内閣においてこれを命ずること

六、内閣總理大臣必要ありと認むるときは専門委員その他適當と認むるものをして會議に出席し意見を開陳せしむることを得ること

七、總裁は會務を總理すること

總裁事故ある時は内閣總理大臣の指名する國務大臣總裁の職務を代理すること

と

八、大東亞建設審議會は必要に應じこれを部會にわかつことを得ること

九、大東亞建設審議會に幹事長。幹事および幹事輔佐を置くこと幹事長は企畫院總裁をもつてこれに充ること

幹事は關係各廳高等官および學識經驗あるものなかより内閣總理大臣の奏請により内閣においてこれを命ずること

幹事輔佐は内閣總理大臣の奏請により關係各廳高等官のなかより内閣においてこれを命ずること

十、大東亞建設審議會の庶務は企畫院これを司ること、幹事輔佐は前項の庶務に參與すること

而して委員額は左の如し。

有田八郎氏、安藤紀三郎中將、鮎川義介氏、安達謙藏氏、井上幾太郎大將、石渡莊太郎氏、石黒忠篤氏、伊藤文吉男、大谷光瑞氏、櫻内幸雄氏、島田俊

雄氏、斯波孝四郎氏、高橋三吉大將、
田中都吉氏、津島壽一氏、津田信吾氏
徳富猪一郎氏、大河内正敏子、大久保
利賢氏、大谷登氏、勝田主計氏、黒田
長和男、久原房之助氏、小磯國昭大將
小林彌造大將、兒玉秀雄伯、兒玉謙次
氏、中島知久平氏、南郷三郎氏、橋本
圭三郎氏、平生釼三郎氏、藤原銀次郎
氏、藤山愛一郎氏、細川護立侯、町田
忠治氏、松本健次郎氏、結城豊太郎氏
シンガポール攻略戦いよいよ酣なる十
四日晝わが陸軍〇〇、〇〇兩部隊は午
前十一時七回にわたりシンガポール西
方商港附近及び敵の重砲陣地を爆撃し
て確實に巨砲七門を沈黙せしめ、市街
突入を目ざす地上部隊に協力戦果をあ
げた。

ジョホールよりの水道鐵管はジョホー
ル陸橋橋畔の箇所を敵軍自ら破壊したた
め、シンガポール島の英軍が命の綱と特
む島内南北二箇所の貯水池も、十三日午

後三時友野、大本兩部隊が南貯水池マク
リツチ南側の標高一六〇高地一帯に進出
し、また北貯水池も陸橋方面より南下す
る左翼〇〇部隊が同日夕刻その關門を抑
へ、かくてシンガポール市の命脈は完全
に我が軍に掌握されるに至つた、シンガ
ポール中心地區の大廈高樓のたゞずまひ
緑の森に點綴する赤い屋根の瀟洒な住宅
街は既に黒煙に蔽はれてゐるのが肉眼で
はつきり看取出來、今や我が冲天の意氣
をもつてシンガポール市包圍の鐵環はぐ
んぐん押し進められてゐる。

十四日ドイツ軍發表によればドイツ潛
水艦は大西洋において英小型艦艇一隻、
商船三隻、合計二萬六千五百トンを撃沈
した。さらに四隻の船舶を魚雷によつて
損傷せしめた、なほ十二日のドーヴァ海
峽海戦においてドイツ驅逐艦ならびに快
速艇は多數の英快速艇を攻撃しそのうち
二隻を撃沈した。

二月十五日

大本營發表 帝國海軍部隊は四日未明シ
ンガポール・セレター軍港に進入し同日
正午これを占領せり。

大本營發表 馬來方面帝國陸軍部隊は本
十五日午後七時五十分シンガポール島要
塞の敵軍をして無條件降伏せしめたり。

大本營發表 南方方面帝國陸軍最高指揮
官は陸軍大將伯爵寺內壽一、同總參謀長
は陸軍中將塚田攻なり。

大本營發表 帝國海軍落下傘部隊は去る
一月十一日セレバス島メナド攻略戦に參
加し、赫々たる戦果を收めたり。

大本營發表 強力なる帝國陸軍落下傘部
隊は二月十四日午前十一時廿六分蘭印最
大の油田地たるスマトラ島パレンバンに
對する奇襲降下に成功し敵を撃破して飛
行場その他の要地を占領確保するとともに
更に戦果を擴張中なり、陸軍航空部隊
は本作戦に密接に協力するとともにすで
にその一部は本十五日午前同地飛行場に
躍進せり。

大本營發表 シンガポール方面帝國艦隊はシンガポール脱出を企圖せる敵艦艇ならびに輸送船團を同島南方海面およびパンカ海峽附近に捕捉攻撃し、二月十日より十四日までの間に合計三十二隻を撃沈破または擱座せしめたり、その戦果左の通り

(一)撃沈 アレスーサ型輕巡(又は大破)

一、特設巡洋艦一、潜水艦一、砲艦二

敷設艦一、特務艦一、三萬トン級輸送

船一、八千トン級輸送船一、五千トン

級輸送船四、三千トン級輸送船二

(二)撃破 蘭國巡洋艦一、驅逐艦一、特

務艦二、輸送船十、魚雷艇一

(三)擱坐 敷設艦一、輸送船一

シンガポール陥落と同時に大本營では南方方面派遣軍總司令官を公表したが、同派遣軍總司令官は右發表と同時に○○基地において左のごとく軍としても覆面を脱し、所信の第一聲を放つた。南方方面派遣軍總司令官發表南方方面派遣軍は

さきに大命を捧じて征戰こゝに二閱月、御稜威のもと海軍との密接なる協同と忠勇なる隸下將兵の敢闘とにより炎熱瘴癘を克服してすでにマニラ、シンガポールその他の要域を攻略せり、軍は今や擧軍鐵石の團結のもとに餘裕綽々たる戦力を保持しつゝ引續き一切の障害を破摧しもつて負荷の重責を完うせんことを期しつゝあり。

二月十六日

大本營發表 大元帥陛下には本日陸海軍幕僚長を召させられ南方方面陸軍最高指揮官並聯合艦隊司令長官に對し左の勅語を賜はりたり。

馬來方面ニ作戰セル陸海軍部隊ハ緊密適切ナル協同ノ下ニ困難ナル海上護衛並輸送ト果敢ナル上陸作戰トヲ斷行シ炎熱ニ耐ヘ瘴癘ヲ冒シ長驅霆擊隨所ニ勁敵ヲ破リ神速克ク新嘉坡ヲ攻略シ以テ東亞ニ於ケル英國ノ根據ヲ覆滅セリ朕深ク之ヲ嘉尚ス

英軍降伏に感激の一夜を夜露に濡れて野營の夢を結んだ皇軍は、その一部をもつて十六日午前八時より北山戦車隊を先登に隊伍堂々、シンガポール市内に進駐を行ひ、政府をはじめ各重要建築物に大日章旗を掲揚した。

十六日午前八時シンガポールに無血進入を開始せる先遣隊は同十時市郊外ラッフルス醫科大學に集結、引續き市内掃蕩に移り、不逞分子敗殘兵の清掃および危險物除去を行ひつゝある。

無條件降伏直後のシンガポール殘存英軍は野戦軍、要塞守備隊、義勇軍總數六萬で、うち一萬五千は英本國兵、一萬三千は濠洲兵、殘餘は印度兵として、東西兩要塞には一兵もなく、市民はなほ百萬路止まつてをり、うちイギリス人婦女子は百二十名殘留してゐる。

十六日貴族院並に衆議院に於て決議したる處左の如し

貴族院の決議

帝國陸海軍は緊密なる協同の下に百戦を排し萬難に堪へ勇戦敢闘する處に敵の大軍を撃破し赫々たる戦果を收むるにハッイを急襲し南海を制歴し次いで香港を攻略し比島を占據し以て敵兵力の大半を失はしむしかして朔方の警戒も彌々敵に中南支の攻戦また毎に大捷を奏す今や新にマレーを席卷しビルマに進撃し蘭印の要衝を確保し遂に敵の東亞制歴の基地シンガポールを陥落せしむ作戦豪壯籌策機に中り銳武比なし、貴族院はこゝに皇軍の偉勳を頌し併せて戦歿將兵諸士に對して深く哀悼の誠意を表し戦傷病將兵諸士に對して厚く同情の悃誠を致す。

衆議院の決議

老英百數十年に及ぶ東洋暴壓勢力の本據たる「シンガポール」要塞は天險を利用し人力と資力とを傾倒したる世界無比の堅壘たり我が「マレー」方面攻略軍は陸海軍緊密協力の下半島上陸人跡未踏の密林沼澤を突破し頓颯數百里に渉る敵壘

を悉く攻略し纔に五旬餘にして全土を席卷して一舉敵前渡過を敢行し空軍熾烈の爆撃と相俟つて猛攻強襲頑敵を撃滅し竟に難攻不落を誇稱したる敵牙城を攻陥す是れ洵に御稜威の下忠烈無雙の皇軍將士萬世不朽の偉績なり國民舉げて感奮感激せざるなし、

衆議院は特に院議を以て滿腔の祝意を表し衷心より皇軍の功勞を感謝す、右決議す。

參謀總長、陸軍大臣より陸軍最高指揮官及海軍最高指揮官宛祝電を發せられたる軍令部總長、海軍大臣より南方方面陸軍最高指揮官、マレー方面陸軍最高指揮官宛祝電を發せられたる。

シンガポールにおける英國側の全面的降伏により十六日正午から〇〇において開催された降伏處理委員會分會にわが海軍側から四委員が出席したが會てはその海軍力を世界に誇つてゐた英國側は東洋艦隊の全滅とともにこの委員會に出席す

る海軍首腦部は一人もゐないといふ衰れき、やむなく退役のロビンソン中佐ただ一人が代表として出席、結局日本側の要求せるセレター軍港の全施設、ケツペル軍港およびチャンギー要塞の一部接收を無條件で承認し、ここに完全に接收、いよゝ近く掃海を完了することとなつた

バタビヤ或はストラバヤに現はれたと稱されながら艦隊を後生大事に守つて回避作戦を續けてゐたハート提督も、マニラ香港落ち、シンガポールの命數盡き大東亞海の制海權全く我が手に歸せんとしてゐる實情に、アジア艦隊何處にありや、ハート提督健在なりやの聲が本國を主として各方面より喧しくなるにつけ、つひにゐたゞまれず、米蘭聯合艦隊を率ゐて出動した所をわが海軍航空部隊の猛撃にあつて旗艦もるとも海底に沈んだものである。

ワシントン來電によればハート大將の

後任として蘭印海軍司令官ヘルフリツヒが西南太平洋聯合海軍總司令に就任した

マレー軍最高指揮官山下泰文中將は十六日午後六時左の聲明を發せり。

抑々シンガポールは英國の印度、濠洲等東亞制覇のためつとに連絡的樞軸たるのみならず、また侵略作戰のための牙城にして、古來金城鐵壁と誇稱し、難攻不落の要塞として自他ともに信ぜしところなり、しかるに軍はマレー攻略、シンガポール覆滅に着手するや、二箇月にして全半島を席卷し、七日を出ずして印濠東亞における勢力は一朝にして土崩瓦解し要なき扇、柄なき傘と化するに至れり、由來英國は極端なる利己獨善の主義を奉じ、傲然として他を蔑視するのみならず老獪欺瞞着悞喝をこととし、不逞不信を敢行して、唯自己の利益のみこれつとめ、世界を毒すところ大なりしが、軍の作戰經過に徴するも、また彼ら英人の

マレー民衆の擄取吸血の跡は經過の事績に照して明瞭なるのみならず作戰間その退却に際しては一般民衆の金錢、資産、糧秣、資源を徵集強奪、これを後送あるひは破棄し、住屋を燒却するなど民衆を塗炭の苦みに投じて顧みず或は印度濠洲軍を前線に配置して本國軍はシンガポールに留まりて他を顧慮するなど、利己主義、不遜不義言語に絶し、眞に人道の公敵と稱すべきなり帝國が今次決戦に破邪の劍を揮つて起つに至りし所以は、帝國累次の聲明に明かなるところにしてこゝにこれを贅せずといへども、吾人の希求するところは暴戾不正義なる英國を掃蕩し萬民苦樂をともにし有無相通じ、各民族各個人各々その能に應じてその所得せしむべき、所謂八紘一字の大精神に基き、正義の下新秩序を整へ、東亞共榮圈を確立して時運の進歩を促進せしめんと欲するに他ならず、されば軍は向後さらに四週近邊に所在する英米殘骸の清

掃覆滅を期するとともに、永きにわたる英人吸血の轍を掃除また今次蒙りたる戰禍を復興しマレーの永遠なる發達施策を講ぜんとす、マレー民衆は能く帝國の眞意を理解し、軍に協力し、新秩序と共榮圈の迅速なる確立に協力せんことを望む、それもし舊態依然として迷夢を追ひ私利私慾に専念し、不信を重ね、あるひは治安を紊り、あるひは軍の指針に服せず軍の行動を妨害するものなどに對しては、軍は斷乎としてこれを排撃膺懲すべし、右シンガポール攻陥に當り民衆に示して希ふところを明かにし、過誤なからしめんとす。

二月十七日

會計法戰時特例(法律第一〇號) 社債等登錄法(法律第一一號) 日本勸業銀行法中改正(法律第一二號) 農工銀行法中改正(法律第一三號) 北海道拓殖銀行法中改正(法律第一四號) 國家總動員法第十八條ノ規定ニ依ル法人等ヲシテ行政官廳

ノ職權ヲ行ヘシムルコトニ關スル件（法律第一五號）兵役法中改正（法律第一六號）獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル件（法律第一八號）相續稅物納不動産收納規則（勅令第九一號）桑皮配給統制規則（農林省令第一七號）下駄箱最高販賣價格指定（商工省告示第一七三號）公布
任内務大臣 內務次官 湯澤三千男
任内務次官 山崎 巖
內閣總理大臣兼內務大臣 東條 英機
陸軍大臣對滿事務局長總裁 免兼內務大臣

第三十二回支那事變生存者論功行賞（陸軍二十六回）は十七日賞勳局ならびに陸軍省から發表された今回恩賞の光榮に浴したのは一支那及び滿洲における高射砲隊の全部。二、北支、中支における各兵團の戰鬥に協力したる氣球隊。三、戰地において功を樹て爾後内地の官衙あるひは在滿部隊に轉屬し、その轉屬部隊より上申せられたる支那事變地關係者の大部。四、内地において事變勤務に従事し

た部隊に屬する軍人（將官を除く）および軍屬と既發表部隊に屬する一部の將官（佐官で奏功しその後官將に進級したものを含む）とで、そのうち殊勳甲に輝く猛將勇士は二十一名、金鷄勳章を授賜せられたものは六百九十五名である。
シンガポール島（港）は爾今、昭南島（港）と呼稱することに定められたり。

大東亞戰爭は現在南方地域において米英蘭將の各軍事據點をつぎ／＼と取り赫々たる戰果を擧げつつあるが、北支軍は大東亞戰勃發以來賦々として盤石の重きをもつて北支蒙疆の治安肅清に當ると共に北邊鎮護の重責を果してゐる、時まさに酷寒期、その地域の廣大なること、執拗なる敗殘共產軍蔣系軍の剿滅に任ずる將兵の勞苦察するに餘りあるものあり、一月中における北支軍綜合戰果左の通り

交戰回數一六八二、兵力二四七、三二四、敵遺棄死體一一、五〇六、捕虜四

二五七、鹵獲品迫擊砲一四、重輕機關銃七四、小銃四七九一、その他敵側施設の覆滅多數

主なる作戰、討伐▽山東方面博山附近（蔣系新編第四師）青城（共產山東縱隊第三旅）▽山西方面、汾陽附近（共產決死第二縱隊）五台附近（共產晉察冀地區遊擊隊）大名附近（共產冀南第三軍分區新編第八旅第四旅）▽河南方面新黃河附近（蔣系何柱國軍、蔣系湯恩伯軍）▽蒙疆地區、オルドス（蔣系傳作義軍）

二月十八日

復權令（勅令第九四號）戶籍法施行細則中改正（司法省令第三號）特免綿タオル販賣價格指定昭和十五年十月告示第六九九號中改正（商工省告示第一七四號）煙草苗木用雨除布最高販賣價格指定（商工省告示第一七五號）カタシ系販賣價格指定昭和十五年十二月告示第八〇一號中改

正(商工省告示第一七八號)公布

大東亞戰爭以來をたぎり立つ一億の歡呼が堰を切つた十八日戰捷第一次祝賀の佳き日、さしもの廣き宮城二重橋前廣場も大御稜威に赤誠さゝげまつる民草の群に埋まり、聖壽萬歳奉唱のどよめきは終日大内山の杜ふかくこだました、長くもこの日 天皇陛下には午後一時四十七分宮城内苑門出御、同五十五分より約十分間の永きに互り二重橋鐵橋上にて御馬上親しく民草の赤誠に應へさせられ、申すも畏し再三御擧手の優渥なる御會釋を賜はつたのである。

戰捷第一次祝賀式の十八日正午東條首相は左の如く官邸から中繼放送し一億の萬歳奉唱の音頭を取つた。

今やシンガポールの陥落により、米英東洋制覇の重要な據點は我手に歸し大東亞建設の基礎は正に成らんとしてをります、これ偏に御稜威の下わが忠勇無比の陸海將兵よく力戰奮闘し一億

同胞亦鐵石の團結を以て學國邁進したる結果に外ならぬのであります、茲に戰捷第一次祝賀に當り謹んで聖壽の萬歳を壽ぎ奉ります、天地も搖びとばかり御唱和を願ひます。

天皇陛下萬歳、萬歳、萬歳

陸軍省發表 參謀次長陸軍中將塚田攻の南方方面帝國陸軍總參謀長轉出に伴ひ過般左の如く發令せられたり。

陸軍中將 田邊 盛武

補參謀次長

マレー作戦に赫々たる偉勳を樹てたわが海軍航空部隊はシンガポール陥落に引續き息つく間もなく、その攻撃の銳鋒をスマトラ方面に轉換、ベンカ海、ヤベ海西部全海面をその鵬翼下に收め十六、十七兩日にわたり敗殘敵艦艇、輸送船團を索敵してゐたがベンカ海ガスベル海峽南方に敵驅逐艦二隻を發見、間髪をいれず攻撃を開始忽ち一隻は我が爆彈下に轟沈他の一隻は我が必中彈に致命傷をうけ右

往左往逃び惑ふうち遂に附近の淺瀬に擱坐した、さらに大型敵輸送船二隻を發見して命中彈を浴せかけ一隻をその場に撃沈し他の一隻は遁走を試みたが左方に傾斜しつゝ猛煙とともに沈没した、一方我が陸軍部隊のパレンバン攻撃に策應してスマトラ島に蟄伏する殘敵を虱つぶしに攻撃し去る九日から十七日まで敵機三十二機を撃墜破した、世界の絶讃を博してゐる我が海軍航空部隊の眞價がシンガポール陥落後更に新しい戦果の記録を續々世界に示すであらう。

帝國政府聲明 天津および廣東の英國租界に對しては大東亞戰爭勃發と共に兵力を進駐し帝國軍においてこれが管理に當り來れるところ我が方において右租界の行政を國民政府の管理に移すこととなりその旨國民政府に通報せり。

翼賛選舉貫徹運動基本要綱 一、運動の名稱「大東亞戰爭完遂翼賛選舉貫徹運動」と稱す。

二、運動の目標——大東亞戰爭の完遂を目標として清新強力なる翼賛議會の確立を期するため衆議院議員總選舉の施行せらるゝに際し一大學國的國民運動を展開し以て重大時局に對處すべき翼賛選舉の實現を期せんとす。

三、運動の基本方針——(一)選舉を機とし必勝の國民士氣を昂揚し大東亞戰爭完遂に對する學國鐵石の決意を鞏固ならしむ。(二)清新強力なる翼賛議會を確立する爲國民の眞摯純正なる政治的意欲を積極的に喚起昂揚せしむ。

(三)大東亞戰爭完遂の大目的に副ひ眞に大政翼賛の重責に任ずべき最適の人材を議會に動員するの氣運を汎く醸成せしむ。(四)重大時局下の選舉たるに鑑みいよ／＼選舉の倫理化を徹底し斷じて在來の情弊を一掃し公正にして明朗なる選舉を實現せしむ。

四、運動の實施方針——(一)啓蒙運動の徹底——本運動は右の基本方針に則り大東

亞戰爭の完遂、翼賛議會の確立、翼賛選舉の實現を目標とする一大啓蒙運動として部落會、町内會、隣保班等の市町村下部組織はもろろん各種團體その他有ゆる組織を動員し活潑なる展開を期するものとす。(二)候補者推薦氣運の醸成——翼賛選舉實現の啓蒙運動として最適候補者推薦の氣運を積極的に醸成せしむ(三)選舉の倫理化と戰時態勢——重大時局下の選舉に際し眞に翼賛選舉の實を擧げしむるため左の方途に於て選舉の倫理化と戰時態勢化を期するものとす。(一)選舉に關する在來の情實因縁を一掃し選舉の公正を期せしむ。(二)一般選舉民の自覺を喚起し選舉犯罪の根絶と棄權防止に努めしむ。(三)選舉運動關係者に對しては自肅自戒以て違反の絶無を期せしむ。(四)戰時に即應し選舉運動上物資、勞力等の節約と運動方法の改善合理化に努めしむ。

イタリヤ軍司令部は先般英護送船團に對する攻撃の際、伊雷擊機は英對空巡洋艦「カイロ」型一隻を撃沈したる旨十八日發表した。「カイロ」型對空巡洋艦は排水量四二〇〇トン、乗組員四百人、四インチ高角砲八門、ボンボン砲一基等を備へ、一九一八年普通の巡洋艦として竣工、一九三九年對空巡洋艦に改装されたものである。

獨軍司令部發表

一、東部戰線、地上部隊は中央地區において赤軍一部隊を遮斷殲滅し捕虜多數砲十一門、機銃その他軍需資材多數を鹵獲したが敵の遺棄死體は千餘に上つた。

二月十九日

作業會計法(燃料局酒精部)中改正(法律第二〇號)昭和十五年法律第七十九號(陸軍作業會計法、陸軍航空五廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法改正(法律第二三號))米穀需給調節特別會計法中改

正) (法律第二六號) 戰時金融庫法 (法律第三二號) 南方開發金庫法 (法律第三三號) 恩給法中改正 (法律第三四號) 陸軍刑法中改正 (法律第三五號) 海軍刑法中改正 (法律第三六號) 昭和十六年度歲入歲出豫算追加 (一、三七三、九五九圓)

農産資源開發獎勵規則中改正 (農林省令第一八號) 織雜製品配給消費統制規則中改正 (商工省令第一三號) 注文洋服等最高販賣價格及注文洋服等最高裁縫料指定 昭和十六年六月告示第五三七號中改正 (商工省告示第一七九號) 提灯最高販賣價格指定 (商工省告示第一八〇號) 醫藥品販賣價格指定 昭和十五年五月告示第五號中改正 (商工厚生省告示第四號) 昭和十六年度各特別會計歲入歲出豫算追加公布

シンガポールの呼稱も大東亞建設史の中に終熄を告げ、昭南島として逞しい復興振りを示してゐるが皇軍精銳は休む暇もなく十八日午後二時三十分なら敵の抵抗もなく昭南島西南海上のバタムを占

領、石油タンク十五、ドラム罐一千二百野砲彈約一千五百を鹵獲した、また一方サンプー島に上陸した皇軍はたゞちに二十の石油タンクをその手に収めたが兩島ともに三箇所から延焼中。

昭南港における俘虜收容は十九日午後をもつて終了したが、この内譯は次のごとし。〇〇要塞に英人俘虜三萬二千人を收容〇〇要塞にインド人俘虜三萬五千人を收容。

またわが軍が同島で鹵獲した使用可能の兵器は左のごとし。野砲四十門、高射砲五十門、高射機關砲五十門、なほ使用可能の自動車および自動貨車は五千臺の多數である。

上海に達した情報によれば、マドリードで傍受した米國側放送は、西南太平洋反樞軸聯合軍總司令官ウエーヅェルが過般の日本航空部隊の爆撃により負傷し目下ストラバヤ郊外において療養中であると報じてゐる、負傷の日時については何等

の報道はないが、去る二月三日行はれた日本海軍航空部隊のジャバ第一回大空襲の際負傷したものをらしむ。

二月二十日

國民體力法中改正 (法律第二七號) 健康保險法中改正 (法律第三八號) 國民健康保險法中改正 (法律第三九號) 食糧管理法 (法律第四〇號) 臘虎臘豚獸獵取締法 (法律第四一號) 帝國鑛業開發株式會社法中改正 (法律第四二號) 帝國石油株式會社法中改正 (法律第四三號) 帝國燃料興業株式會社法中改正 (法律第四四號) 鐵道敷設法中改正 (法律第四五號) 大東亞建設審議會官制 (勅令九五號) 地代家賃統制令中改正 (勅令第九八號) 港灣運送業統制令中改正 (勅令九九號) 昭和十七年度歲入歲出總豫算並昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫算、同追加豫算各特別會計歲入歲出追加豫算、俘虜給與規則 (陸達第八號) 包裝本箱用組板販賣價格指定 昭和十六年十二月告示第八七六

號中改正（農林省告示第八八號）公布、大本營發表 帝國陸海軍部隊は緊密なる協同のもとに二月二十日未明チモール島クーバン及びデリー方面に敵前上陸を敢行せり。

帝國政府聲明 客年十二月十七日英蘭兩國軍は葡領「チモール」總督の拒否に不拘同領に侵入し、これを占據するの措置に出でたり、爾來英葡兩國間に撤兵方の交渉開始せられ、葡國政府は事態改善のため努力したる模様なるも事態は何ら變更を見ずして今日に至れるところ今般蘭領「チモール」に對する我方作戰の進展に伴ひ自衛上帝國軍は葡領「チモール」に在る英蘭軍兵力を驅逐するの必要に迫らるゝに至れり、英蘭兩國の國際信義を無視せる行爲のため多大の迷惑を受くるに至りたる葡國の立場は帝國の十分諒とするとともに帝國政府は葡領「チモール」の領土保全を保障し、かつ葡國政府が中立の態度を維持する限り、自衛上

の目的達成の上は速かに兵力を撤收せんとするものにして帝國は葡國に對し何ら他意ある次第に非ざることをこゝに闡明す。

大本營發表 帝國陸軍航空部隊は、昨十九日ジャバ島バイテンゾルグ飛行場の攻撃に引續き、さらに午後五時大學してバンドン西飛行場を猛襲し米蘭敵機十九機を撃墜破せり、この日におけるジャバ方面の綜合戦果は撃墜破敵機四十六機にしてジャバ島米蘭聯合空軍に對し潰滅的打撃を與へたり、わが方未だ二機歸還せず大本營發表 スマトラ、ジャバ方面を制御中の帝國陸軍航空部隊は昨十九日西部ジャバ、バハテンゾルグ飛行場（バダユヤ南方）を強襲し米蘭敵機二十七機を撃墜破せり、我に損害なし。

大本營發表 帝國海軍航空部隊は二月十九日濠洲本土北岸敵最大の海空軍基地ポート・ダーウインに對し大舉大攻撃を敢行し所在敵航空兵力ならびに在港敵艦艇

船舶を覆滅更に陸上重要軍事施設の大牛を爆破せり、戦果左の通り。

一、撃墜破敵機Ⅱ所在敵機全部（二十六機）
二、撃沈艦艇船舶Ⅱ六千トン級特設巡洋艦一、驅逐艦二、驅潜艇一、輸送船九

驅逐艦一（大破）

三、爆破または炎上せる陸上施設Ⅱ東西

兩飛行場格納庫全部（三棟）兵舍（二棟）海軍司令部、官廳衙、棧橋、本攻撃においてわが方二機を失へり。

（註）同港在泊中の病院船には攻撃を加へず。

陸軍落下傘部隊のスマトラ島パレンバン奇襲降下作戰は熾たる武勳を収め、いよゝ戦果を擴大中である、十九日現在パレンバン精油所方面降下部隊はすでに西精油所を完全に確保したが、東精油所は敵軍のため焼却された模様である、なほパレンバン飛行場降下部隊と精油所にある友軍部隊との連絡もつき、我が精銳の意氣はいよゝあがつてゐる。

わが陸軍航空部隊の精銳は、地上部隊に呼應、十九日午後禹門口北方四十キロ萬堡子山附近に集結せる二千の敵に猛爆を加へ、四散させた。敵は汾西作戰において撃滅された豫備一師の敗殘部隊で不敵にも結氷せる黃河を渡河して來たものである。

陸軍省發表

- | | | |
|---------|-------|----|
| 元内務次官 | 大達 | 茂雄 |
| 前鳥取縣知事 | 久保田 | 峻 |
| 元秋田縣知事 | 菊池 | 慎三 |
| 前新潟縣書記官 | 久慈 | 榮 |
| 陸軍中將 | 片山省太郎 | |
| 陸軍少將 | 伊丹 | 政吉 |
| 陸軍少將 | 助川 | 靜三 |
| 陸軍少將 | 砂川 | 泰 |

陸軍の事務囑託（南方軍政事務）
二月二十一日

稅務代理士法（法律第四六號）所得稅法中改正（法律第四七號）所得稅法人稅内外地關稅法中改正（法律第四八號）臨時

所得稅法中改正（法律第四九號）法人稅法中改正（法律第五〇號）特別法人稅中改正（法律第五一號）營業稅法中改正（法律第五二號）相續稅法中改正（法律第五三號）印紙稅法中改正（法律第五四號）織物消費稅法中改正（法律第五五號）臨時租稅措置法中改正（法律第五六號）物品稅法中改正（法律第五七號）電氣瓦斯稅法（法律第五八號）廣告稅法（法律第五九號）馬券稅法（法律第六〇號）地方分與稅法中改正（法律第六一號）公布大本營發表 バリ島方面海陸協同作戰實施中、帝國海軍水雷戰隊所屬〇〇驅逐艦二隻は、二月二十日午前零時同島東方ロソボク水道において、巡洋艦二隻、驅逐艦三隻より成る敵米蘭蘭聯合部隊に遭遇するや直ちに攻勢に轉じ、午前零時四十分砲火を開き、戰鬪十分にして敵驅逐艦二隻を撃沈し、他の一隻を大破せしめ、更に逃走を企てたる敵巡洋艦二隻を急追午前三時十五分にいたり再度これと交戦

せり又分離行動中の同隊驅逐艦二隻も急遽南下し來り、この敵を攻撃せしが、敵は我砲雷撃により損害を受け倉皇として夜陰にまぎれ我視界外に遁走せり、本戰鬪において我方驅逐艦一隻損害を受けたるも戰鬪航海に支障なし。

わが陸の精銳は二十日昭南島南海上の蘭領ビンタン島に二箇所から上陸を敢行同島を確保した、破竹の皇軍の進撃の前にこの島には敵影なく、ポキサイトの産地として世界的に知られたビンタン島はかくて完全にわが手に歸した、

獨軍司令部二十一日特別發表 獨潜水艦は大西洋においてまたも十七隻（計十九萬二千トン）の商船を撃沈した、その結果、米國沿岸において獨潜水艦が撃沈した商船は總計八十隻（計五十三萬二千九百トン）に上つた。なほカリブ海における作戦繼續中、一隻の獨潜水艦はトリニダッドのバリア灣内に潜入し二隻を撃沈した。

獨軍司令部二十一日正午發表

一、東部戰線中部地區に活躍中のモデル將軍麾下獨機械化部隊は四週間にわたり惡氣候ををかして激戰、特にロセフ附近(モスクワ西北方二〇〇キロ)においてソ聯軍を包圍し、これに殲滅的打撃を加へ、將兵四千八百人を捕虜とせるほか武器彈藥多數を破壊乃至函獲した、この戰鬪におけるソ聯軍の死者は二萬六千人の多數に上つてゐる。

一、二月十一日から二十日に至る期間における英空軍の損失は合計九十九機である。このうち三十八機は地中海および北阿方面で墜したものである、同期間内における獨空軍の損害は二十八機である。

二月二十二日

大本營發表 強力なる帝國陸軍新銳部隊は二月十五日早朝ムシ河を遡江して、さきにバレンバン飛行場を占領せる陸軍落下傘部隊と協同し同十七日南部スマトラ

島の要衝バレンバンを完全に占領せり。

大本營發表 帝國陸軍部隊はわが海軍部隊と緊密なる協同の下に二月十五日未明ベンカ島ムントク附近の敵前上陸に成功し同日夕、同島東岸の要衝バンカルピナンを占領し更に戰果擴大中なり。

シドニー來電によればフォード濠陸相はシンガポール戰線における濠洲軍の損害は一方八千名に上り、シンガポール方面軍濠洲軍司令官ベネット將軍は目下日本軍に抑留されてゐる旨二十一日發表した。

ワシントン來電によれば米海軍省は油槽船一隻がまた一撃沈された旨二十一日次のごとく發表した。

米油槽船パン・マサチューセツツ(八、二〇三トン)は米大西洋岸沖合で魚雷を受けて撃沈、乗組員中生残者十八名が大西洋岸の港に上陸した。

獨艦隊の英佛海峡通過により英艦隊の無力振りが暴露されたが、信すべき情報

に基き、これを數字的に検討して見ても現在の英國艦隊は英本土、地中海の防備すら極度に困難な状態にある。まづ主力艦についてみると戰前の勢力は十五隻だったがこれに昨年來キング・ジョージ二世、プリンズ・オブ・ウェールズ(双方共三五、〇〇〇トン)の二艦を加へ、さらに本年に入りデューク・オブ・ヨーク(三五、〇〇〇トン)が就役したので全部で十八隻となるわけであるが、プリンス・オブ・ウェールズ、レパルス(三二、〇〇〇トン)が先に日本海軍に依り撃沈されたのははじめロイヤル・オーク(二九、一五〇トン)バラム(三一、一〇〇トン)フッド(四二、一〇〇トン)が獨海軍に依り撃沈され五隻を失つてゐる、そのほかクイーン・エリザベス、ヴァリアント(双方共三〇、六〇〇トン)の二主力艦はジブラルタルに入港したまゝ動けない状態にある、その他昨年中に損害を受け目下米國および北アイルランドで修理中のウォー

スパイト(三〇、六〇〇トン)ネルソン(三三、九五〇トン)を加へると満足に活動できるのは八隻だけである、英國はこれ以上の損失を受ければ獨軍の英本土上陸作戦を阻止することもできなくなるので、残つた主力艦の大部分はスコットランド北方オークニー諸島のスカパフロに虎の子のやうに大事にしまつてゐる、これに對し獨海軍の現有勢力をみると主力艦はビスマルク(三五、〇〇〇トン)の姉妹艦として最新鋭を誇るティピツツ(三五、〇〇〇トン)を始めブレスト港から最近歸國したシャルンホルスト、グナイゼナウ(双方とも二六、〇〇〇トン)の三艦がある、これに一萬トン級重巡洋艦アドミラル・シエーア、リネーツオウの兩艦は戦艦に準ずる有力なものである。この外に英例情報では航空母艦二隻も完成してゐると傳へられてゐるが、これらの獨主力艦隊が出動した場合にこれを追撃出来るのは大體二十九ノットと稱する英巡洋

戦艦リナウン(三二、〇〇〇トン)のほかはない、一方米主力艦は大體二十ノット前後のもの許りで、最近竣工したワシントン、ノース・カロライナ兩艦(三五、〇〇〇トン)が二十八ノット出るだけである、従つてビスマルクのやうに獨主力艦隊が太平洋に出動し英米の海上連絡路の妨害に乗り出したら手も足も出ないことになるこれに加へて獨潜水艦隊は二百隻と稱せられた昨年春以來一段と勢力を増大してゐる、米沿岸方面でも連日猛烈な活躍を續けてゐるところから見ても潜水艦隊の増大振りは推察できる、この他に地中海にはイタリアの有力艦隊がありまた太平洋では日本海軍が絶對的に制海權を確保してゐるので太平洋においてこのやうに獨伊海軍の威力が發揮されることになれば英國はいよいよ苦境に陥り封鎖戦によつて軍備も經濟も最後の土境場に追ひつめられるやうな事態にならう。

二月二十三日

裁判所構成法戰時特例(法律第六二號) 戰時民事特別法(法律第六三號) 戰時刑事特別法(法律第六四號) 戰時ニ於ケル領事館ノ裁判ノ特例ニ關スル法律(法律第六五號) 不動産登記法中改正(法律第六六號) 日本銀行法(法律第六七號) 國民更生金庫法中改正(法律第六八號) 重要物資管理營團法(法律第六九號) 鐵道運輸規程(鐵道省令第三號) 砂糖販賣價格指定昭和十六年十二月告示第八八一號 中改正(農林省告示第九三號) アスファルトルーピング、アスファルトフェルト及タールフェルト販賣價格指定昭和十五年十月告示第二七四號中改正(商工省告示第一八九號) 公布

大本營發表 スマトラ、ジャバ、ビルマ各方面に航空撃滅戰を續行中なる帝國陸軍航空部隊は、二月二十一、二十二の兩日にわたり、ジャバ島バイテンゾルグ、カリジャチ、バンドン、ビルマ領、トングウバセイン各飛行場を大舉攻撃し、米

英蘭機三十九機を撃墜破せり、我が軍の損害未帰還一機、大破一機なり。

大本營發表 帝國陸海軍部隊は緊密なる協同のもとに二月十九日バリ島南部の要地デンパサルを完全に占領せり。

パタビヤ軍當局發表 日本軍は十九日來ジャバ島の東方に繋がるバリ島に續々上陸し、軍事重要施設を悉く確保しつゝある、一方日本航空部隊は十九日朝來バリ島隨所に爆撃を敢行した。

緊密なる陸海軍の協力のもとに二十日午前二時五分チモール島クーバン附近に敵前上陸を敢行した陸の精銳は、いよくクーバン周邊にその戦果を擴大中であるが、デリー方面上陸部隊は頑強なる敵の抵抗を撃碎して、二十日午前十一時デリー飛行場を占領した。

山西省内殘存共匪に對し熾烈極まる第二次殲滅戦を展開中のわが精銳各部隊は隨所に甚大な戦果を収めつゝあり、小南庄(遼縣東北二十五キロ)周邊で有力な

敵匪を潰滅した白井、綾部の兩部隊は二十二日拐兒鎮(遼縣東方二十五キロ)南方に進出、同地周邊の共匪を包圍猛攻中

一方田邊、伊藤の兩部隊は南井泉(黎城北方二十キロ)より河南省涉縣に突入、さらに漳河谷に沿ひ敵を急追中また松尾、岩淵の各精銳部隊は靈垣北方および東北方地區一帯を反復攻撃、敵匪を剔抉掃蕩、これまた甚大な戦果を収め、二十二日には東田鎮(靈垣北方二十五キロ)に進出した、かくて冬期第二次山西肅清戦は今や最高潮に達してゐる。

第二次作戦に入つた山西省内共匪殲滅戦は隨所に甚大な戦果を収めつゝあるが二十一日までに判明した綜合戦果は左の通りである。

△敵遺棄死體三百九十五 △捕虜二百四十四
△函獲重機二、輕機十、小銃二百二十

拳銃三十、その他多數
プエノスアイレス來電 トラジル北岸

ベレムよりの報道によれば英船ウエスマ

インド號が南大西洋ブラジル沿岸八十里の沖合で潜水艦に襲はれ沈没したが詳細不明である。

去る二十一日朝、蘭領チモール島クーバン附近において帝國軍艦搭載の水上偵察機一機が哨戒中近くのロチ島プラー岬で蘭印の三發飛行艇一機を發見、猛然これに襲ひかゝつて忽ち撃墜した、下駄穿きといはれる水上偵察機が空中戦闘でこのやうな偉功をたてたのは大東亞戦以來これが二度目でわが荒鷲の優秀性を立證するに足るものがある。

獨軍司令部二十三日發表

一、東部戦線における赤軍は獨軍に對し攻勢に出たが大損害を蒙つて後退した
一、東部戦線北部地區並にドネツ地區における獨空軍部隊は赤軍の列車二十六を大破した。

一、昨二十二日東部戦線において赤軍は飛行機四十四機を失つた。

一、一月一日より二月二十日の間に獨軍

は東部戦線において赤軍の捕虜五萬六千八百六、戦車九百六十臺、火炮千七百八十九門、各種車輛八千以上を鹵獲乃至破壊の戦果をあげた。

一、同期間において赤軍は空中戦において飛行機六百九十九機をまた獨軍高射砲隊により百五十九機を失ひ、さらに三百三十一機を地上爆破された、この敵側損失合計千八百八十九機に對し獨軍の損害は百二十七機である。

一、東阿キレナイカ方面に活動中のイタリア空軍は英軍飛行場を空襲し、英機十五機を破壊した。

一、地中海東部に活躍中の獨爆撃隊はシチ・ペラニ北方を航行中の英護送船團を攻撃、輸送船二隻計一萬六千トンを撃沈するとともに他の一隻を航行不能に陥らしめた。

一、獨爆撃隊はマルタ島の空軍基地並に船渠を爆撃すると共にラ・グアレツタ港内の船舶を攻撃した。

一、英空軍は昨二十二日夜ドイツ北部海岸地區に進入したが獨軍高射砲陣は英爆撃機二機を撃墜した。

二月二十三日翼賛政治體制協議會席上東條内閣總理大臣の述べられたる挨拶左の如し。

今同行はれんとする衆議院議員總選舉に對する政府の所信については、さきにこれを發表して居るのであるが、この機會において重ねて私の所信を親しく諸君に申述べたいと思ふ、御承知の通り現在衆議院議員の任期は四月二十九日をもつて満了するので、その改選の期はすでに目睫の間に迫つたのである。今回の衆議院議員總選舉は、昨年議員の任期が延長せられた結果、滿五年目の總選舉であり、また支那事變開始以來最初の總選舉である、大東亞戰爭下において敢て今次の總選舉を行はんとする所以は、一に選舉が戦時下國民の總力を集結し舉國いよゝゝ決意を

固くして戰爭目的の完遂に邁進せしむる絶好の機會であると共に、一は今回の選舉をもつて支那事變以來ことに大東亞戰爭開始以來、飛躍的に發展を遂げた時局の新段階に對應すべき清新なる議會の成立を期待するに外ならないのである、即ち政府においてはこの選舉が舊套を一掃して眞に公正明朗に行はれ、これによつて大政翼賛の熱意に燃え大東亞戰爭の目的完遂のために積極的に力を致すべき有爲の人材の一人にても多く選出せられんことを熱望するものである、かくして國民の胸中に漲る征戰目的の完遂の意氣と氣魄とが遺憾なく披瀝せられ、大政翼賛の赤誠と至情とが十分に吐露せられここに翼賛政治の本領の發揮せられんことを希望する次第である。

これがために政府は、今次選舉に際し國民運動が展開せられ、特に先に述べたるが如き積極有爲の人材が従來の困

習を破つて現實に選出せらるゝやう、その氣運が積極的に醸成せらるゝことを希望し、さらにその實現に關する最も適切な方途に就いて、廣く國民一般の工夫と盡力とを期待して居るのである。

本日各位を御招きしたのも實に、この趣旨に外ならぬのである、各位の如き各方面の先達の方々が、この趣旨をよく領得せられ、如何にこの目的を達するかの方途につき御考究を賜はり、これが達成のために振つて御盡力の程を切に希望する次第である。

二月二十四日

國民醫療法（法律第七〇號）戰時災害保護法（法律第七一號）重要事業場勞務管理令（勸令第一〇六號）雨衣販賣價格指定昭和十六年五月告示第三八七號中改正（商工省告示第一九一號）公布

第三十三回支那事變生存者論功行賞（陸軍第二十七回）は二十四日賞勳局なら

びに陸軍省から左の如く發表された、今回恩賞の光榮に浴したものは左記部隊に屬する軍人および軍屬（各集團本部の軍屬を除く）で、金鷄勳章を授賜せられたものは三百七十五名、殊勳甲は武藤章少將、下山琢磨少將、西原一策少將以下全部で十三名である、金鷄勳章授賜の恩典に浴したものに「ノモンハン」附近の戰鬪で熾烈な敵砲彈下に給水に従事し、第一線部隊の戰鬪遂行に遺憾なからしめた石井部隊軍屬渡邊邊、工藤與四郎氏らの武名が連らねてある。

大本營發表 帝國海軍落下傘部隊は再び二月二十日チモール島クーパーン附近に奇襲降下し、目下所在の敵を撃破しつゝ進撃中なり。

大本營發表 帝國陸軍部隊は二月二十日朝スマトラ島東南端の要衝タンジュンカランを占領せり。

スマトラの要衝パレンバンに奇襲降下した陸の落下傘部隊に呼應して後續部隊

の精銳はムシ河を遡江、同方面における戦力を増大し、怒濤の如き南下を開始したが、神速なその進撃は遂に二十日拂曉南部スマトラの要衝タンジュンカランを占領した、タンジュンカランはランブン灣に近く、スンダ海峽を隔ててジャバに對してをり、我がボルネオ、セレベスの戰果、チモール島上陸作戰の成功と相俟つてすでにジャバ島小スンダ列島の敵陣營は完全なる包圍挾撃の態勢下に置かれるに至つた。

スマトラ進撃に並行して同島東北バンカ島に作戦中のわが軍は二十日中にほと全島の占領を完成した。

蘭印の最大油田地たるスマトラ島パレンバンを攻略した。わが陸の精銳はさらに神速な進撃を續けて二十二日午後十一時三十分途にラハト（パレンバン西南方約百八十キロ）に殺到し着々戦果を擴大中である、長年月にわたつて歐米人の極楷下に呻吟してゐたスマトラの住民たち

は至るところで噓々として皇軍を迎へ、暴虐より解放された歡喜の情は全島に漲らんとしてゐる。

蘭領チモール島作戦方面進撃の我が陸の精銳は二十一日午後二時ブトン飛行場(クーパーン東方十五キロ)を占領するとともに、さらに猛進撃を續けてゐる。

二月二十五日

三極楮及雁皮販賣價格指定昭和十六年三月告示第一七〇號中改正(農林省告示第九六號)木材販賣價格指定昭和十五年十二月告示第六七一號中改正(農林省告示第九七號)人造水晶石及弗化アルミニウム最高販賣價格指定(商工省告示第一九三號)和文タイプライター及其の附屬品販賣價格指定昭和十五年十月告示第六七三號中改正(商工省告示第一九四號)計算器販賣價格指定昭和十五年十月告示第六二九號中改正(商工省告示第一九五號)綿織糸其の他の綿織糸販賣價格指定昭和十五年四月告示第一八三號中改正(商工

省告示第一九六號)更生糸織物販賣價格指定昭和十六年五月告示第四三六號中改正(商工省告示第一九七號)ステイブルファイバー製品販賣價格指定昭和十四年十二月告示第三七八號中改正(商工省告示第一九八號)寶石軸受最高販賣價格指定(商工省告示第一九九號)産婆衣、理髮用刈布及診察衣(實驗衣、油劑衣を含む)最高販賣價格指定(商工省告示第二〇〇號)公布

チモール島攻略戦に参加中の帝國艦艇は二十日クーパーン南方セモウ海峡において蘭國商船トペロ號ならびに給油船一隻を拿捕した何れも直ちに使用可能であるトペロ號は八六〇トン、七百馬力、速力十ノット航續距離千五百哩、七氣筒ディーゼルエンジンの優秀船である、同日帝國海軍航空部隊はアンボン南方洋上において敵蘭船二隻を爆撃、大火災を生ぜしめて翌二十一日には同洋上において敵商船六千トン級一隻を爆撃大破せしめた。

大本營發表 帝國潜水艦は昨二十四日夜間米國カリフォルニア州沿岸の軍事施設を砲撃し大なる戦果を収めたり。開戦以來遠く太平洋を渡つて米沿岸に活躍し、逆封鎖戦に敵の心膽を寒からしめてゐた我潜水艦は遂にカリフォルニア州沿岸に簞々姿を現はし、米本土軍事施設に初の砲撃を加へた、この勇敢なる我潜水艦の無敵の活躍振りは眞に米國民はもとより敵側各國民を震撼せしめるものである。

大本營發表 二月十九日來西部ジャバ方面に航空撃滅戦を續行中の帝國陸軍航空部隊は昨二十四日前に引續き數次にわたりジャバ島主要航空基地たるバンドンバイテンゾル、グチリリタン、バタバヤ各飛行場を反復強襲し敵機六十八機を撃墜破し殘存米蘭聯合空軍に對し致命的打撃を與へたり、本空襲間バタバヤ港を攻撃せる部隊は敵艦船群に猛襲を加へ輕巡一隻、三千トン級汽船二隻に多數の命中

彈を與へたり、我軍の損害大破一機なり。

ニューギニアのモレスビー港は二十五日正午過ぎまたもや日本航空部隊爆撃隊によつて爆撃された、日本航空部隊の兵力については詳細なほ不明であるが、日本航空部隊はさらにサラマウアの上空に飛來こゝでも爆彈を投下した。

山西省山岳地帯の共產軍大殲滅の二月初旬より二十日朝までにおける中間綜合戦果は次の如くである。

敵遺棄死體一、四九六△捕虜一、八一
九△鹵獲品、機關砲二、迫撃砲一、重機四、輕機二六、小銃二、三六七
ワシントン來電 米政府當局は二十五日正午(日本時間二十六日午前一時)の記者團會見において、二十五日拂曉、米國西部海岸上空に二編隊の敵飛行機が來襲したと發表した。

米通信社がロサンゼルスより傳ふるところによれば、二十三日(米國時間)日本潜水艦の砲撃を受け人心動搖してゐる

折柄二十五日拂曉加州沿岸ロサンゼルスの高射砲陣地は急に活動を開始した、米人數人は一機または數機の飛行機がロサンゼルスのポールドウイン丘陵上空を照空燈の照射を浴びながら南方に向つてゐたのを目撃したと述べてゐる。

米國よりの情報によれば二十五日拂曉ロサンゼルスおよびその郊外には空襲警報發令せられ、完全なる燈火管制が實施されてから三十分後ロサンゼルスの高射砲は急に發砲を開始した、外國の飛行機一機または數機が最初ロサンゼルス西部ハンチントン公園上空に姿を現したのが認められ、右飛行機は次いでロングビーチの石油貯藏所上空に飛翔するのがみられた、高射砲隊は終始發砲をつゞげ、目撃者の談によると飛行機の附近で多數の高射砲彈が炸裂したが、一彈も命中しなかつたやうである。

米海軍省は二十五日獨潜水艦の攻撃による米商船の被害を左のごとく發表した

本年初頭以來西大西洋において米商船百十四隻が敵潜水艦の攻撃を受けた。

なほこれ等潜水艦による攻撃の結果、どれだけの商船が實際に撃沈されたかについては、右發表は言及してゐない。

二月二十六日

戰時災害國稅減免法(法律第七三號)所得稅等の日滿二重課稅防止ニ關スル法律(法律第七四號)地方鐵道補助法中改正(法律第七五號)挽割玉蜀黍及玉蜀黍粉(佛領印度支那產玉蜀黍ヲ原料トシタルモノトス)最高販賣價格指定(農林省告示第一〇〇號)内地產獸毛最高販賣價格指定昭和十六年十月告示第七五一號中改正(農林省告示第一〇二號)薄荷製品最高販賣價格指定(農林商工厚生省告示第一號)人造絹糸の種類及最高販賣價格指定昭和十三年七月告示第一九九號中改正(商工省告示第二〇一號)輪轉騰寫機販賣價格指定昭和十六年四月告示第二八九號中改正(商工省告示第二〇三號)梳織

織物毛紡式ステールファイバー織物販賣價格指定商工省告示第二〇四號中改正

(商工省告示第二〇四號)毛織物販賣價格指定昭和十五年十二月告示第七九號中改正(商工省告示第二〇五號)公布

大本營發表 帝國海軍航空部隊は二月二十一日ニューギニア島北方數百哩の洋

上に航空母艦を含む有力なる敵部隊を發見機を逸せず敵上空に殺到敵戰鬥機群と

壯烈なる空中戰鬥を交へ、その一部は猛烈機體もろとも體當りを以て敵航空母艦

を大破、大火災を生ぜしめ他の軍艦一隻にも大損害を與へ、敵戰鬥機十機を撃墜

せり本攻撃に於て我方未だ還らざるもの九機なり。

(註) 右の航空母艦はその被害情况等より察し撃沈せられたるものと認めらる

るも、その終焉まで見届くるに至らざりしを以て沈没確實ならず。

大本營發表 西部ジャバ方面に航空撃滅戰を續行中の帝國陸軍航空部隊は昨二十

五日さらにかリジャナ飛行場を強襲し殘存敵機三十七機を撃墜破せり。

政府は大東亞戰下における舉國一致體制強化の一方策としてさる一月十九日各

重臣を首相官邸に招請し戰況の報告をなすとともに諸般の國策につき懇談をとり

たが二十六日午前九時から第二回重臣懇談會を首相官邸に開催した政府側、東條

首相、東郷外相、嶋田海相、鈴木企畫院總裁、星野書記官長、武藤陸軍、岡海軍

兩軍務局長、重臣側、若槻禮次郎男、岡田啓介大將、廣田弘毅氏、林銑十郎大將

阿部信行大將、米内光政大將、近衛文麿公、平沼麒一郎男ならびに原樞密院議長

の九氏(清浦奎吾伯缺席)出席し、まづ岡本陸軍、前田海軍兩少將から第一回懇

談會以後の戰況、就中シ港陥落を中心とする最近の戰況をそれら報告しついで

て東條首相から大東亞建設方策、東郷外相より戰時下における外交情勢につき説明をなして、懇談に入り政府側と重臣側

双方の間に國內狀況につき忌憚なき意見の交換を重ねて同十一時散會した。

獨軍司令部は二十六日正午の特別發表において獨潜水艦は中部大西洋水域でま

たも汽船七隻合計トン數五萬二千トン撃沈したほか油槽船一隻を含む六隻の汽

船に損害を與へた旨發表した。獨官邊では二十六日開戦以來の米英商

船の損失は千五百五十萬トン以上に上ると左のごとく發表した。

最近の英護送船團に對する攻撃により英國が失つた商船五萬二千トンを加算

し開戦以來の米英商船の損失は都合一千五百五十萬トン以上に上る、これは

開戦當時英國の所有せる商船總トン數の半分以上に當る。

英國側の發表 英國船主協會(チエムパー・オブ・シツピング)の發表によれば、今次世界戰爭勃發前における世界各

國船舶總トン數は約六千五百萬トンに達したが、一九三九年九月開戦より昨年十

二月末日に至る二年四箇月間に戦争によつて喪失せる交戦各國船舶の總トン数は約一千四百萬トンこの内英國及びその聯合國側の損失トン数は八百三十萬トンで獨逸及びその他の樞軸國側の喪失トン数は五百萬乃至六百萬トンに上つてゐる、而して米英兩國は沈没せる船舶の補充として造船に努め一九四一年の一年間には約百萬トンの新建造船が進水したが今明年の二年間には更にそれ以上のものがキールに置かれるはずである。

二月二十七日

臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所官制(勅令第一〇八號)馬券税法施行規則(勅令第一一三號)戰時金融法施行令(勅令第一一七號)輸出入植物取締法ニ依リ検査ヲ行フ海港指定ノ件中改正(勅令第一一八號)硝子製食品用塩、調味料用塩及代用塩類最高販賣價格指定(商工省告示第六號)公布
大本營發表(一)その後の詳報に依れば

バリ島沖海戰の戦果左の通りなること判明せり、驅逐艦四隻(米二隻、蘭二隻)撃沈、巡洋艦二隻、驅逐艦一隻大破、(二)帝國海軍航空部隊は二月二十二日チモール島附近において蘭敷設艦ヤンファンブラーケル型一隻、三千トン級敵艦一隻を爆破炎上せしめ、二萬トン級敵艦一隻を爆沈せり。

大本營發表 ビルマ方面帝國陸軍航空部隊は一昨二十五日マンダレー及びミンガラドン飛行場を大舉強襲し敵機三十四機を撃墜破せり、我軍の損害未だ歸還せざるもの三機なり。

大本營發表 囊に米英蘭聯合空軍の大半をスラバヤ方面に撃滅せる帝國海軍航空部隊はさらに十八日以來二十五日までニ蘭印全土ならびにニューギニヤ島に残存する敵機九十九機を撃墜破せり。

大本營發表 スマトラ方面帝國陸軍部隊は二月二十四日夕、南部スマトラ西岸の要衝ベンクレンを完全に占領せり。

ベンクレン、スマトラ島印度洋岸の古い開港場で人口一萬二千、一七一九年英國がスマトラ侵略の根據地として建設以來一八二四年ナポレオン戦争の結果オランダに返還するまで百十年間英國東洋侵攻の歴史的基地であつた、現在英國權益としてはバタワセ石油會社の倉庫が残存するのである。

情報局發表 大東亞建設審議會第一回總會は二月二十七日午後二時五分より總理官邸大廣間において開催、東條總理大臣以下全閣僚町田委員以下三十三名の委員(安達、大河内、大谷(光)、兒玉(謙)委員缺席)幹事、幹事輔佐出席し、先づ東條内閣總理大臣より別項の如き挨拶あり次いで議事規則の報告あり東條總理議長となり審議に入つた、審議は政府提出の諮問事項を議題とし、鈴木企畫院總裁より諮問事項の提案理由を説明し、次いで諮問事項を部會に分つて審議することとした、なほ部會の運用の細部を協議す

るため三時一旦休憩し別室において幹事會を開催した、三時三十分再び總會を開き東條總理より部會の編成を發表し三時三十五分散會。

東條首相挨拶

既に御承知の通り大東亞戦争は帝國の自存自衛の障礙となる一切の力を破碎し帝を中核として道義に基く大東亞の新秩序を確立することを目的とするものである、しかして大東亞戦争完遂の要諦は先づ以て大東亞における戰略據點を占領確保し、重要資源地域を我が管制下に收め以て我が戦力を擴充しつつ獨伊兩國と密に協力し、互に相呼應して積極的作戰を展開し、米英兩國を屈服せしむることに存することと確信致すのである、従つて帝國は終始一貫戦争即建設の意氣を以て活潑強靱なる戦を戦ひ續けつゝ最後まで物心兩面に互りその戦争遂行力を擴充強化して行くことが絕對に必要である。

二月二十八日

會社經理統制令施行規則中改正（閣令第

今回政府において大東亞建設審議會の設置を仰ぎましたのは眞に官民協力の下聰明を傾け睿智を絞り且つ各地域の實態に關する把握を正確にし依て以て雄渾なる帝國經綸の籌畫遂行に萬遺算なきを期せんとする趣旨に他ならぬのである。而して本審議會においては世界的變革に處する帝國百年の長計の確立およびこれと密接不可分なる大東亞共榮圈建設に關する重要事項の調査審議をお願ひ致しこれに對し確固不拔の指針と基礎とを與ふることを主眼としてその機能が發揮せらるることを切望する次第である、各位におかれては政府の意のある所を諒とせられ官制の定むる處に基き、或は政府の諮問に答へ或は政府への建議に、萬全の御努力を傾倒せられんことをお願ひ致す次第である。

四條）戦時金融倉庫法施行規則（大藏省令第一〇號）臨時租稅措置法施行規則中改正（大藏省令第一一號）輸出入植物取締法施行規則中改正（農林省令第二十一號）競馬法施行規則中改正（農林省令第二二號）軍馬資源保護法施行規則中改正（農林陸軍省令第二號）重要事業場勞務者管理令施行規則（厚生省令第一〇號）内燃機關用液化石油瓦斯最高販賣價格指定（商工省告示第二一六號）公布

任時命全權大使（ソビエツト駐在） 佐藤 尙武

任時命全權公使（同） 守島 伍郎

第三十四回支那事變生存者論功行賞（陸軍第二十八回）は二十八日賞勳局ならびに陸軍から發表された、今回の恩賞に浴したのは左記部隊に屬する軍人（將官を除く）および軍屬と既に發表部隊に屬する將官（佐官で奏功しその後將官に進級した者を含む）とで、そのうち金鵝勳

章を授賜せられたものは四十八名、殊勲甲は大城戸三治少將（東京）井上官一大佐（山口）の兩氏である。

大本營發表 我蘭印方面所在艦隊主力は二十七日午後六時ジャバ海において敵西南太平洋聯合艦隊主力を捕捉し激戦を展開敵巡洋艦一隻、驅逐艦三隻を撃沈し、目下殘敵追撃中。

蘭印海軍省は昨二十七日夜ジャバ海において日本艦隊と反樞軸聯合艦隊との間に海戦が開始された旨二十八日午前公表した、詳細はまだ判明してゐない。

敵に殘された最後の基地ストラバヤ方面に潜む西南太平洋聯合艦隊主力は二十七日夕刻ジャバ島北方パウエアン島西方〇十哩海上においてつひにわが艦隊主力と遭遇、最後の獲物に勇躍するわが艦隊は敵を捕捉、直ちに猛烈な海戦を展開夜に入つてわが得意とする夜襲戦に移り、彼の砲撃あんとしてジャバ海を壓し今朝に至つて痛烈なる追撃戦に移り、な

ほ激戦を展開中である、撃沈したるものすでに巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、わが艦隊が腕を撫して待つた艦隊決戦において敵は殲滅の運命にある、敵聯合艦隊はジャバ島の運命すでに火を賭るより瞭かなるものあるを見て、ヘルフリツヒ提督麾下の殘存巡洋艦、驅逐艦および小艦艇の殘勢力をことごとく合してジャバ海に出動したものであるが、ジャバ沖海戦、バリ島沖海戦を経て敵がなほ保持する巡洋艦は米輕巡マーブルヘット號、蘭印巡洋艦一の程度で他に印度洋、濠洲方面より回航されたもの若干を含むかも知れぬと見られる。

大本營發表 大島島（舊ウエーキ島）海軍部隊は、二月二十四日未明、敵航空母艦一隻、巡洋艦二隻、驅逐艦六隻を發見同島陸上砲臺は直ちにこれを砲撃し敵巡洋艦一隻に火災を生ぜしめ驅逐艦一隻の艦尾に命中弾を與へ、また同方面所在海軍航空部隊は敵大型巡洋艦一隻の後甲板

に爆弾を命中せしめたる外、敵機五機を撃墜し、さらに所在航空部隊の總力をもつて、これが撃滅を期し發進せるも、敵は逸早く遁走し、洋上遠く頓晦せり、本戰團において我方監視艇一隻沈没、陸上施設に輕微なる損害を蒙り、數名の死傷者を生じたり。

大本營發表 帝國陸軍部隊の二月九日以降同二十五日に至る間における南方各方面の戦況左の如し。

一、馬來方面

マレー方面帝國陸軍部隊はシンガポール島要塞攻略後昭南市内外の治安の回復に努めると共に、二月十八日有力なる一部を以てブクム島およびサンボ島に、二十日ピンタン島にそれごとく機動上陸しこれを占領せり、昭南島における軍主力は爾後の作戦を準備中にして將兵の士氣いよ／＼旺盛なり、昭南市の接收は極めて順調に進捗し治安もまた迅速に回復しつゝあり、その概要次の如し。

(1)總督、民政長官をはじめ英人官吏は比較的多く在留しありて我が接收業務を容易ならしめたり。(2)英人非戦闘員一千三百二十名は昭南郊外に收容保護を加へつゝあり。(3)通信諸施設は多少破壊せられたるも機能概ね完全にして着々修理復舊しつゝあり、但し無線局、放送局等は完全に破壊せられあり。(4)チャンギー監獄に監禁中の在留邦人二十八名を發見收容せりなほマレー在留邦人千六百名は一月七日印度に護送せられたるもの如し。

二、ビルマ方面

(1)モールメンを占領し、サルウィン河左岸地區に進出せる帝國陸軍部隊は二月十日周到なる準備のもとに數方面より果敢なる敵前渡河を敢行、同日午後一時サルウィン河口の要衝マルタバンを攻略し引續き爾後の作戦を準備中なり、二月八日以降における主なる戦果中判明せるもの左の如し。

遺棄死體三千五百三十七、俘虜二千三百九十八、鹵獲品戰車(裝甲車を含む)十二輛、火砲八十八門、機關銃百六十一挺、銃器一千三挺、自動車五百七十輛、銃砲彈約五十萬發、鐵道車輛二十輛その他各種軍需資材多數。

(2)陸軍航空部隊は地上部隊に密に協力して其進攻作戦を容易ならしめると共に屢々ミンガラドン、レグラー、トンク、マングダレー、パセイン各飛行場を急襲して航空撃滅戦を敢行し、ビルマ英空軍の再建企圖を破碎しつゝありこの間の戦果、撃墜破敵機六十四機なり。

三、比島方面

バタン半島及びコレヒドール島に蟄伏しある殘敵に對し陸海より完全に連絡を遮斷すると共にこれが掃蕩戦を續行中にして戦況豫期の如く進捗しつゝあり。

四、蘭印方面

(1)スマトラ島に作戦せる帝國陸軍部隊は二月十五日一部を以て、バンカ島ムン

トクに上陸し、バンカ海峡を扼したる後主力を以てムシ河を遡江し、ききに蘭印第一の油田地帯たるパレンバンに奇襲降下せる帝國陸軍落下傘部隊と協力し同十七日激戦の後同地を完全に占領し、その重要施設を略取すると共に有力なる一部は機を失せず南進して二十日南部の要地タンジュン・カランを、二十二日パレンバン西南方百五十キロのラハトを、二十四日ベンクレンを攻略し旬日を出でずして南部スマトラ要域大部の戡定を終了せり、パレンバン攻略戦戦果の主なるもの左の如し。

鹵獲品戰車十六輛、火砲二十三門、鐵道車輛約五百輛、その他各種資材多數 俘虜約四百。

なほムントク上陸部隊は十五日夕その一部を以てバンカルピナンを占領せり。

(2)蘭領ボルネオ島に作戦中の帝國陸軍部隊は一月三十一日タナグロゴトに上陸せる部隊を以て陸路四百キロを踏破し

二月十日南東部ボルネオ州の首府パンジ
エルマシンに突入してその飛行場および
市街を占領確保し引續き周辺の敵を掃蕩
中なり、またポンチャナツク一帯を確保
し引續き西部ボルネオ地區に作戦しある
部隊は二月十三日來その一部をもつてカ
プアス河を遡江してサンゴウ及びシンダ
ン附近に機動し、十六日シンタンを占領
せり。

(3)小スンダ列島方面に作戦せる帝國陸
軍部隊は海軍部隊と緊密なる協同のもと
に二月十九日バリ島南海岸に上陸し、直
ちに要地デンバサルを衝き同地およびそ
の飛行場を占領せり。

(4)大スンダ列島方面に作戦せる帝國陸
軍部隊は海軍部隊と緊密なる協同のもと
に二月二十日未明敵の猛火を冒してチモ
ール島デリー附近およびクバン附近の
上陸に成功し所在の敵を撃破して戦果擴
大中なり。

クバン附近に於て獲得せる俘虜は濠

洲兵約千五百にしてチモール州副理事
官ならびに檢察官も又我に投降せり、
又デリーに於て監禁中の邦人三十一名
を救出せり。

(5)アンボン島上陸部隊は二月二日アン
ボン市を占領後引續き全島の戡定作戦を
續行中にして二月六日までに俘虜約二千
三百を得たり。

(6)ジャバ、スマトラ方面に作戦中の帝
國陸軍航空部隊は連日果敢なる航空撃滅
戦を敢行しスマトラ、西部ジャバ方面米
蘭聯合空軍の大部を殲滅せり、その状況
次の如し。

スマトラ方面 二月六日以來五次にわた
りパレンバン、バカンバルの各飛行場
を長驅強襲しスマトラ蘭印空軍を壊滅
せしめると共に陸軍落下傘部隊のパレ
ンバン奇襲降下にあたりては大舉出動
して南部スマトラ地區敵殘存空軍の蠢
動を完全に制壓しその行動を容易なら
しめたり、この間の戦果撃墜破敵機四

十四機なり。

西部ジャバ方面 二月十九日來八次にわ
たりバイテンゾルダ、バンドン、カリ
ジャチ、バタバヤ、チリリタン各飛行
場を連日強襲してジャバ方面米蘭聯合
空軍の大部を殲滅せり、この間の戦果
撃墜破敵機二百十八機なり。

五、英領ボルネオ方面

北部英領ボルネオにおいて戡定作戦を
續行中の陸軍部隊はマアルズ灣附近に蠢
動する敵を攻撃し二月六日要衝クダツト
を占領せり。

六、ビスマルク群島方面

英領ニュー・ブリティン島に作戦中の
帝國陸軍部隊は引續き殘敵を掃蕩中なり
しところ二月上旬概ね同島の戡定作戦を
終了せり、作戦開始以來同島において得
たる俘虜總數はラバウル總指揮官スカン
ロン大佐以下六百九十七なり。

獨軍司令部二十八日發表によればクリ
ミヤ戦線の赤軍は機械化部隊と空軍部隊

とをもつてセバストポリ、ケルチ半島地區に攻撃し來つたが獨軍の猛反撃により多大の損害をうけて退却した。なほ若干の地區では戦闘繼續中であるが獨軍はケルチ半島方面で三十五臺、セバストポリ方面で九臺の赤軍戰車を潰滅せしめた。ドネツ戰線でも赤軍は戰車群を擁する強力部隊をもつて襲撃し來つたが失敗に歸し、その他東部戰線でも赤軍は各戰線で多大の損害を受け獨軍も親衛隊との協同作戰で大いに振ひ赤軍戰車七十五臺を破壊した。

三月一日

滿洲建國十周年慶祝會主催の祝賀午餐會は長くも高松宮殿下の臺臨を仰ぎ一日正午から帝國ホテル宴會場に開かれた、定刻同會總裁兼會長たる東條首相以下各閣僚、原樞相、松平首相、木戸内府、鈴木樞府副議長、李滿洲國大使のほか盟邦獨、伊、華、タイ、西、丁、フィンラン、ルーマニア、ハンガリー各國大公使

その他各界代表者三百五十名參集、お待ち申上げる中を、殿下には午後零時十五分御附武官正木海軍中佐を隨へさせられ東條總裁、竹内、宮田兩副會長、松井事務局長等の御出迎へ裡に會場に御成り、一旦御休所に入らせられて總裁の會務一般言上を聞召され續いて對滿事務局長竹内新平、日滿中央協會々長宮田光雄、同協會理事長陸軍中將松井七夫並に滿洲國大使李紹庚の四氏に謁を賜はり、總裁の御先導にて宴會場に成らせられた。

建國十周年の佳き日この日午前十時、滿洲國皇帝陛下には建國神廟において梅津關東軍司令官臨席、張國務總理以下參列の下に建國祭の御儀を御親ら執行はせられ、國運の進展を奉謝し給ふとともにその隆昌を御祈念遊ばされた。

大東亞戰爭下輝く建國十周年記念日を迎へ滿洲國皇帝陛下には詔書並に恩赦の詔書を頒發せられ、滿洲國政府は聖慮を奉戴、減刑復權兩令以下を公布、既日施

行さらに建國前後における出境者の取扱に關する佈告を發した。

詔書

我國肇興ヨリ以來茲ニ十載ヲ歴 仰テ天照大神ノ神脉 天皇陛下ノ保佑ニ賴リ 國本惟神ノ道ニ奠マリ 政教四海ノ民ニ明カニ 崇本敬始ノ典萬世維レ尊ク 奉天承運ノ祚 統ヲ無窮ニ垂ル明々ノ鑒親ノ如ク 穆々ノ愛子ノ如ク夙夜乾惕 惟タ德ヲ昭カニセンコトヲ念ヒ 勵精自ラ懋メ 敢テ豫逸セス爾有司衆庶 亦咸ナ朕カ心ヲ以テ心トナシ 忠誠事ニ任シ 勤勉業ヲ治メ上下相和シ 萬方相協ヒ 創業ヨリ以テ今日ニ至ルマテ 終始一貫奉公懈ラス 深ク嘉慰スルニ堪ヘタリ 宜シク益其心トスル所ヲ砥キ 其志トスル所ヲ勵マシ 身ヲ大東亞聖戰ニ獻シ 親邦ノ天業ヲ奉翼シテ以テ 報本ノ至誠ヲ盡シ 力ヲ國本ノ培養ニ努メ 神人合一ノ綱紀ヲ振張シ以テ建國ノ 明命

ニ奉答スヘシ 此ヲ欽メ

御名御璽

康徳九年三月一日

國務總理大臣 張 景 惠

大本營發表一、ジャバ方面海戦において三月一日早朝までに判明せる戦果左の通り。

(一) スラバヤ方面海軍作戦部隊は二月二十七日薄暮より二十八日未明までに敵米英蘭聯合艦隊に屬する巡洋艦三隻驅逐艦六隻を撃沈巡洋艦四隻を大破せり、(註)本海戦をスラバヤ沖海戦と呼稱す。(二) バタビヤ方面海軍作戦部隊は三月一日早朝米大巡一隻、濠巡一隻を撃沈せり。(註)本海戦をバタビヤ沖海戦と呼稱す。

二、この兩海戦において我蘭印方面所在艦隊は西南太平洋方面敵艦隊主力を概ね殲滅しなほ殘敵掃蕩中なり。

三、わが方の損害は驅逐艦一隻小破せるも戰闘航海に差し支へなし。

大本營發表 帝國陸軍航空部隊は二月二十七日、二十八日の兩日にわたりその主力をもつて西部ジャバ海の敵艦隊を索めて攻撃し、スンダ海峽において三千トン級軍艦一隻を爆碎炎上せしむるとともに、巡洋艦二隻、驅逐艦一隻に各々確實に直撃弾を命中せしめこれに多大の損害を與へたり。

二十八日陸艦得永、瀬戸、黒田の各部隊はスンダ海峽(ジャバ島とスマトラとの中間)南下中の敵艦船に對して猛烈果敢なる攻撃を展開、巡洋艦二隻、驅逐艦一隻に直撃弾を見舞つたほか、巡洋艦ならびに一千トン級艦艇および中型汽船各一隻と、五百トン級貨物船二隻にそれぞれ至近弾を與へさらに他の一隊はバタビヤ西方のスラン附近で敵列車を攻撃しこれを爆碎したが、その果敢なる攻撃でわが方も未だ二機歸還してゐない、尙この日西部ジャバのバタビヤ附近およびスマトラ全島にわたつて敵空軍の活動は全然

認めなかつた。

既に蘭印機四百六十機を撃墜破して大東亞海上空を制壓した我が海軍はその後も引續き索敵中ニューギニア島最大の敵空軍基地モンスビーに濠洲より新に飛行艇、大型陸上機の飛來してゐることを發見し二月二十八日大擧翼を連ねてこれを奇襲し、銃爆撃を加へ大型飛行艇三機炎上、三機大破陸上大型機二機中破同小型機三機中破の戦果をあげた。

イタリア軍司令部發表

一、北阿戦線トミニ東南方において哨戒先遣部隊が衝突、樞軸軍は戦車四臺を破壊敵を敗走せしめた。

一、イタリア戰闘機編隊は悪天候を冒してエル・アデム飛行場を空襲、地上の敵機十臺を破壊した。

一、リビアから多數の英捕虜を乗せて歸航の途にあつたイタリア輸送船一隻は魚雷攻撃を受け撃沈された。

獨軍司令部一日五午發表

一、ケルチ半島における數日の戦闘において敵軍は戦死者四千名の損害を蒙り戦車六十六臺を失つた。

一、東部戦線に活躍中の獨空軍は敵密集部隊に猛撃を加へ、大損害を與へた。

一、獨空軍はムルマンクス港の軍事施設を反復爆撃し大損害を與へると共に大型輸送船一隻に命中弾を與へた。

三月二日

北海道産の小豆類菜豆類及豌豆類並に府縣産小豆最高販賣價格指定（農林省告示第一〇四號）帽子糞革最高販賣價格指定（商工省告示第二一九號）公布

大本營發表 新銳帝國陸軍大部隊は我海軍部隊護衛の下に昨一日未明空陸海よりする敵の猛反撃を冒しツジャバ島東部中部、西部各方面の強行上陸に成功し引續き戦果擴大中なり、本上陸作戦における我船團の損害判明せるもの沈没一隻、擱坐三隻なるも揚陸過半終了せるものにしてこれが人員の損害殆ど皆無なり。

大本營發表 殘敵掃蕩中のスラバヤ方面海軍作戦部隊は更に三月一日午前十一時クラガン北方海面逃走中の英甲巡一隻並に驅逐艦二隻を撃沈せり。

大本營發表 マレー方面帝國陸軍部隊のマレー上陸以來シンガポール島要塞攻略までに収めたる綜合戦果次のごとし。

一、敵に與へたる損害 俘虜九五、〇〇〇、遺棄死體約一五、〇〇〇、擊墜破

飛行機五五一機、撃沈破艦艇および船

舶一〇一隻、鹵獲品飛行機一七機、戰

車（裝甲車を含む）四五〇輛、大威力

重砲その他各種火砲六三〇門、機關銃

二、五五〇挺、自動小銃および小銃五

二、〇六二挺各種自動車一三、八三〇

輛、鐵道車輛八三二輛、大小船舶その他兵器、彈藥、資材多數。

二、我軍の損害戦死三、二八三名、戦傷

六、一〇一名、飛行機自爆八、未歸還

二八、不時着その他損傷三六、計七十二機。

機。

ツジャバ島に強行上陸した我が陸の精銳はいよいよ戦果を擴大中であるが、飛行機の偵察によると西部方面上陸部隊は一日午前十時〇〇を占領東方に猛進をつゞけ、〇〇を突破、同日午後三時には〇〇を奮取して感激の日章旗を翻した、ツジャバ島中部方面上陸部隊は〇〇方面に進出

同地區の東西に走る鐵路に接近した、バカデン西南方十三、四キロの地點に我が荒鷲に猛爆されたカリジャチ飛行場があるが、一日は物凄い豪雨の中に同地一帯はわが急進撃により混亂の極に達してゐる模様である、また東部方面に作戦中の皇軍も破竹の進撃をつゞけてゐる、ガチエホー東部は敵の放火により炎々と燃え盛り、物凄い黒煙は實に二千メートルの上空に立上つてゐる、これら第一線部隊の赫々たる戦果とともに我が主力部隊も上陸を取行、わが戦況はますます有利に展開してゐる。

スマトラ島南部制壓の我が陸の精銳は

怒濤の進撃を續けて、その戦果を北部方面に繰り擴げて二十四日夜スランゲン（パレンバン西方二十キロ）を占領、同所の敵五百を急襲殲滅したが、その銳鋒は息もつかず北進、二十八日午後三時砲兵を有する敵を撃碎してムアラテボ（スランゲン西北百キロ）を占領した。

假に南支那海のわが新南群島のあだりにコ^ラに於けて、一千マイルのを知り得る（描くとする、その北端

支那の一部が入る、佛もイリツピンも蘭印もマレーもビルマの一部も

の圓の中に入る圓の面積は海面、三分の一は陸地である。陸地の上に一億三千萬の民族が住してゐる、六千六百萬の蘭印人口、佛領印度支那の二千萬、一千六百萬のアイリツピン人、七百萬人のタイ國、四百五十萬人の舊英領マレー、南支那海沿岸の二千萬の支那人——この地域と人口、

そして資源これこそは『アメリカの生命線』だとロベート・オーラ・スミスは二年前に著した『アジアにおけるわれらの將來』で論及してゐる、それは主として英、米、蘭の三植民國家の領域であるが、スミスはこの傲慢なる政治論のなかでいつてゐる。

赫々たる戦果に昂揚した地方民情を上通反映し政府の大東亞戰爭完遂、翼賛選舉確立方策の闡明を重點とする大東亞戰爭下最初の意義深き全國地方長官會議第一日は三日午前九時首相官邸に開會され、この日會議に先立ち午前八時十分全

長官を代表して關東代表松村東京、東海代表相川愛知、中國代表吉永廣島、北陸代表土居新潟各知事は明治神宮に、北海道代表戸塚北海道廳長官、東北代表林宮城、近畿代表三邊大阪、四國代表畠田愛媛、九州代表平長崎各知事は靖國神社に參拜して皇軍の武運長久を祈願、續いて午前九時戸塚北海道廳長官、富岡警視總

監、松村東京府知事以下三府四十三縣知事ならびに朝鮮三知事、臺灣二知事、柳井關東州廳長官、中村憲兵司令官は首相官邸に參集、東條首相、湯澤内相を始め全閣僚出席の下に東條首相から東道の刷新、戰時下行政の迅速適切な運営、大東亞戰爭の赫々たる戦果に對應する政府の決意と施策、國內體制整備のため總選舉に臨む政府が企圖する翼賛會議建設の方策を中心に左の如き力強き訓示を行ひ同九時二十五分閉會、同九時四十分、出席の内外地地方長官は民情奏上のため官中に參内した。

滿洲政府發表我國は建國以來十年、國體愈々固く、國運益々興り、諸般の建設着々として進みいまや大東亞建設のため賦課せられたる使命を遂行しつつあり、これ親邦日本の終始渝らざる伏羲援助の賜に外ならず茲に建國十周年の佳日を迎へるに當り日本皇室を始め奉り日本朝野に對し感謝の至情を披瀝し、もつて日滿

一億一心の大義を愈々昭かならしめるため、國務總理大臣張景惠を謝恩特派大使として日本に派遣することとなり、特派大使は御親書を奉持し近く新京を出發赴日の途につく豫定なり。

米軍大輸送船團がカナダの某港に向け潜水艦五隻に狙はれ、米大西洋輸送船七隻が、夜間撃沈されが同じ運命に遭ひ、少くも

大西洋の藻屑と化した、組員中百十一名が米軍艦北海岸に近接したカナダ生存者の話で遭難事實が明かにされた。

獨軍司令部二日發表

一、ドネツ戦線ならびにイルメン湖東南地區においては熾烈な攻防戦が展開中である。

一、ケルチ半島方面の獨軍は空軍協力の下に赤軍機甲部隊に對してさらに大損を與へた。

一、ケルチ海峡東南水域において獨軍雷撃機は敵六千トン級運送船一隻を撃沈するとともにケルチ地區のウオロニツシュ發動機工場ならびに飛行場に直撃彈を與へ、猛烈な爆發を生ぜしめた。

一、二月二十四日より三月一日に至る間に赤軍は東部戦線において戦車二百四臺を失つた。

三月三日

陸軍諸學校生徒教育令(勅令第二二二號) 重要物資管理營團登記令(勅令第二二三號) 絹織糸最高販賣價格及最高加工賃指定(商工省告示第二二〇號) 自轉車、三輪車、リヤカー及人力車用タイヤ及並にチューブ最高販賣價格指定(商工省告示第二二一號) 紋附地最高販賣價格指定昭和十六年六月告示第四七九號中改正(商工省告示第二二二號) 公布

大本營發表 蘭印方面所在帝國海軍作戦部隊は二月二十七日より三月一日に至るスラバヤ沖、パタビヤ沖兩海戦において

同方面敵艦隊を撃滅せり、その戦果左の通り。

一、撃沈せる敵艦隊主力ヒューストン米甲巡、エクゼター英甲巡、パリス濠乙巡、ホバート濠乙巡(轟沈)デ・ロイ

二、その他撃沈せるもの潜水艦七隻、驅逐艦八隻(内二艦大損傷擱坐)砲艦一隻、掃海艇一隻、本海戦においてわが方掃海艇一隻沈没、驅逐艦一隻小破せり。

(註)一、ジャバ沖海戦において撃沈と傳へられたるヒューストン型一隻はオーガスタ撃沈なりしこと判明せり。

二、ジャバ沖海戦において大破間もなく沈没と發表せるデ・ロイはトルロンプなりしがごとし。

三、さきにスラバヤ沖海戦において巡洋艦四隻大破と發表せしところ内二隻はその後パタビヤ沖海戦において撃沈せられたるもの、他の二隻は暗夜激戦

中驅逐艦又は砲艦などを巡洋艦と誤認せるものなること判明せり。

陸軍航空部隊は二日折柄の豪雨を冒して西部ジャバを急襲、掉尾の猛威をふるつた、この日の戦果はまづ中尾、黒田の兩部隊が上陸地上部隊の〇〇飛行場占領と同時に機を失せず躍進して上陸部隊の戦團に密接に協力その途次來襲してきたマーチン爆撃機一およびブレンハイム一機をいづれも血祭りにあげるや(うちブレンハイムは不確實)これに呼應し加藤部隊は午後五時頃バンドン飛行場を奇襲して在地の超大型二、大型三十五、小型五機に對して低空銃撃を加へて大打撃を與へたほか、反撃してきたパツファロー六機と交戦して、うち三機を撃墜するなど多大の戦果をあげたが、この戦場で我が方もまた一機壯烈なる自爆を遂げたこのほか竹田、岡部の兩部隊もまた延數十機をもつて、上陸部隊の泊地上空附近の掩護に活躍した。

ジャバ島中部方面進撃の陸軍精銳部隊は二日午後零時三十分〇〇飛行場(バンドン北方約〇〇キロ)を完全に占領、感激の日章旗を繖し、また他の部隊は同日交通の要衝たる〇〇を占領、こゝにジャバ島北岸横斷の鐵路を二箇所において切断した、なほ東部、西部方面上陸の各部隊も急速なる進出をみせて、いよゝ戦果擴大中である。

B C放送によれば在英オランダ亡命政権當局は蘭印政廳が三日日本軍の直接脅威下に曝されたバタビヤを放棄バンドンに移轉した旨同日發表した。

わが無敵海軍がスラバヤ沖に敵西南太平洋米、英、濠、蘭聯合艦隊を一擧に撃滅し去つた二十八日、わが海鷲は、敵艦隊戦況不利の報に急遽これを救援すべく濠洲方面より飛來しつゝあつた敵機群十三機をジャバ島南方海上に捕捉し壯烈な空中戦を交へ、瞬く間に敵の四發爆撃機十一機、四發飛行艇一機、双發飛行艇一

機を撃墜し全機を殲滅した、我が海鷲の制空權下に完全に慄伏しつつある敵空軍最後のあがきともいふべきジャバ島救援企圖蠢動も南海に鵬翼を張る海軍航空部隊の前に空しく潰え去つた。

昭南港における反日華僑ならびに政治結社の肅清工作はその後着々進捗し〇〇警備地區において二十八日未明より開始された第二次掃蕩の結果現在までに檢舉された總數七萬六百九十九名に達し目下嚴重取調中である。

三月四日

農業保險法施行令中改正(勅令第一三〇號)小麦及小麥粉最置販賣價格指定昭和十五年一月農林商工省告示第一號中改正(農林省告示第一〇八號)硫酸アンモニア等販賣價格指定昭和十五年八月告示第三五〇號中改正(農林省告示第一〇九號)白色減摩合金販賣價格指定昭和十五年十月告示第六六五號中改正(商工省告示第二二六號)鑿及部分品最高販賣價格指定

昭和十六年十二月告示第一二九八號中改正(商工省告示第二二八號)公布

全國地方長官會議第二日は四日午後一時半再開、内務省關係會議に移り、湯澤内相は曠古の大戦下、地方行政の第一線に立つて陣頭指揮すべき地方長官の責務を強調して訓示を行つたが、右の訓示において内相は總選舉對策の基本方針として、

一、翼賛選舉貫徹にあつては官民一體の舉國的大運動を展開し大政翼賛の氣運と國民の積極眞摯なる政治的意欲の昂揚を圖り有爲の人材を議會に動員すること。

一、選舉取締にあつては嚴正公平はもちろぬ國民の自覺と協力とを促し未然に事犯の防止を圖ること。

一、選舉に際し國家機密の漏洩、國論の分裂、國內相剋の醸成を來すがごとき論議を坂締ること。

等の諸原則を概括的に明示した、續い

て山崎次官から内政一般について重點的指示があり、今松警保局長から國內治安の現況を説明さらに總選舉啓蒙運動の展開、地方推薦會の組織運用方針等を中心に各長官と省首腦部との間に質疑應答あり、次いで大政翼賛會安藤副總裁から啓蒙運動に對する長官側の協力を要望して午後五時半散會内相官邸における湯澤内相招待晩餐會に出席した。

バンドン發、アリツブ通信 三日朝日本航空部隊戰爆連合の大編隊は約一時間半にわたつてバンドンを空襲、附近の各飛行場に猛爆撃を行ひ、一方日本戦闘機隊は息もつかせず地上掃射を續けた、その際バンドン上空哨戒中の聯合軍空軍は直ちに應戦したが、日本航空部隊の編隊を崩し得ず、聯合國側は百二名の死傷者を出した、なほバンドンの市民は數日前に同地を撤退して政府機關と軍隊のみの街となつてゐる、またロンドンよりのアリツブ通信は蘭印筋要路の言としてバタ

ビヤの脆弱性は既に政府機關ならびに聯合軍司令部のバンドン移轉により倍加されたと語り、ジャバ島各要衝の崩潰を傳へてゐる。

四日ワシントンから當地に達した報道によると、ホノルル時間四日午前二時十二分ホノルルで三回の爆音が起つて全市を揺り動かし市内の多數の窓が破壊された。この爆發直後に空襲警報が發令せられ、市民一同今にも敵機の爆撃を受けるものと戦々兢々たるものがあつた。

ホノルル來電によればハワイ防衛軍司令部は四日夜半ホノルル地區に對し爆撃が行はれたむね左のごとく公表した『四日午前二時頃ホノルル地區を震撼せしめた爆發はホノルル市郊外に敵飛行機が投下した中型爆彈の炸裂によるものである損害ならびに死傷者は出なかつたが、これは十二月八日の眞珠灣攻撃以來はじめてのホノルル空襲である、敵機は一機でオアフ島の上空を飛翔午前二時十五分中

型爆彈三個を投下した、右飛行機がどこから飛來したかは判明しない』なほ官邊筋では同機は日本巡洋艦の艦載飛行機であらうと解してゐる。

山西省内に殘存の第十八集團軍麾下共產軍および共產系匪の殲滅を期し二月初頭突如開始された冬季山西肅清戦は赫々たる大戦果を収めて終了し、所期の目的を達成したが三月四日まで判明せる綜合主要戦果左のごとし。

遺棄死體二千五百五十九、捕虜二千八百十一、鹵獲品機關砲二、迫撃砲三同彈藥九百八十、重機關銃四、輕機關銃三十五、小銃三千百三十八、同彈藥十二萬八百、拳銃百三十一、自動小銃二百十八、自動短銃七十八、擲彈筒三百四十、電話機二十二、手榴彈六萬九千百六十一、地雷二千二百二十四、イナマイト三十トン

なほ現地軍では綽々たる餘裕をもつて今後とも共產黨軍に對し絶えず徹底的に討

伐殲滅せざれば已まずとの決意を表明してゐる。

陸軍省撰定 大東亞戦争陸軍の歌

- 一、今こそ撃てと宣戰の大詔に勇むつはものが火蓋を切つて押し渡る時、十二月その八日
- 二、マレーに續くルソン島快速部隊の進撃に鐵より固き香港もわが肉彈に碎けたり
- 三、春眞先に大マニラ陥して更にボルネオも迅風の如き勢ひになびくチャングル椰子の濱
- 四、黒いスクール火の嵐戦車も喰る赤道下
- 一、今こそ撃てと宣戰の大詔に勇むつはものが火蓋を切つて押し渡る時、十二月その八日
- 二、マレーに續くルソン島快速部隊の進撃に鐵より固き香港もわが肉彈に碎けたり
- 三、春眞先に大マニラ陥して更にボルネオも迅風の如き勢ひになびくチャングル椰子の濱
- 四、黒いスクール火の嵐戦車も喰る赤道下
- 五、六十餘日の進撃に白梅かをる紀元節シンガポールを撃ち陥し大建設の日のみ旗
- 六、南十字の空高く櫻とまがふ落下傘若木の花の精銳が手柄はかをれバレンバン
- 七、ビルマも何ぞ濠洲もわが皇軍の征くところ電波は躍る勝鬨に朝日かゞやく大東亞